かねざわ

第６７号

2018 年 11 月

（P―2）　運営委員会からのお知らせ
（継続会員募集・新入会員意見交換会）

（P―25）　探訪　「六浦地区を訪ねる」

目　次

運営委員会からのお知らせ
2　継続会員募集
3　新入会員意見交換会

学習会
4　第４回学習会
「安達一族～鎌倉幕府と真言密教」

9　第５回学習会
「結城合戦と享徳の乱」

17　第６回学習会　探訪「六浦地区を訪ねる」

会員の寄稿
21　「人生 90 年時代」　鶴岡重典

分科会からの便り
22　「寺社を巡る会」 活動記録(8 月～10 月)
25　「ふれあいの道歩こう会」 実施概要 №23
代表　江口正彦
28　「懐かしの映画を観る会」 №28
代表　佐藤　晃
35　「浮雲俳句会」　抄録 №43
代表　北野清市
40　「パソコンを使いこなす会」【17】
代表　林　洋

歴史研究
42　「江戸時代の五街道を歩く(4)」
―東海道五十三次紀行（3/3）―
「古文書を読む会」 代表　真田雅行

48　**行事予定**　12 月～2 月

金沢区生涯学習“わ”の会
ホームページ:http://kanazawa-wanokai.in.coocan.jp/
メ　ー　ル:yokohama.kanazawa.wanokai@gmail.com

運営委員会からのお知らせ

金沢区生涯学習 “わ”の会

２０１９年度の学習会計画と継続会員受付のお知らせ

１．2019 年度の学習会計画

学習会ごとの皆様からのアンケートなどを参考に、下表のような 2019 年度の学習会計画を作成しました。講師・会場・テーマにつきましても、一部変更の可能性のあるものもございます。それらにつきましては確定次第、会報やホームページでお知らせいたします。

回	開 催 日	テ ー マ	講 師	会 場
1	5/11(土)	葛飾北斎の波の絵と 1311 年の長浜千軒伝説(仮題)	“わ”の会 会員 平山 次清 氏	能見台地区センター
2	6/8(土)午後	長尾景春の乱と長享の乱 (仮題)	立教大学 文学部 兼任講師 谷口 雄太氏	金沢地区センター
3	7/13(土)	永正の乱(仮題)	東京大学 文学部 助教 木下 聡氏	能見台地区センター
4	8/3(土) 予定	[訪問講座] 金沢文庫展示関連(詳細未定)	県立金沢文庫 学芸員	県立金沢文庫
5	9/14(土)	三浦道寸 (伊勢宗瑞に立ちはだかった最大のライバル)	青山学院大学 講師 真鍋 淳哉氏	金沢地区センター
6	10/11(金)	[探訪] (予定) 三浦道寸ゆかりの地めぐり	NPO 法人 よこすかシティガイド協会	三浦地区
7	11/9(土)	軍記物語と鎌倉	鶴見大学 講師 平藤 幸氏	能見台地区センター

２．継続会員の申込受付

2019 年度の“わ”の会への入会申込は、例年通り継続会員を優先と致します。継続会員の申込受付は、前々回の第５回学習会(9 月)から開始しました。継続希望の会員は下記の領収書・申込書に必要事項をご記入のうえ、年会費 3,000 円を添えて本日(11 月)の学習会でお申込下さい。また、継続ご希望で、学習会での申込手続きが出来なかった場合は、11 月 30 日(金)までに下記(2)の銀行口座へ会費 3,000 円をお振込ください。なおこの、**11 月 30 日**をもって、継続会員の申込を締切らせていただきます。

(1) 学習会で申込の場合　　下記申込書にて申込ください (本日の学習会で)
(2) 銀行振込で申込の場合　　振込先 (11/30 まで)
横浜銀行 金沢支店(店番号 ３５１)　普通預金口座番号 １３２４２１９
名義人 金沢区生涯学習わの会 代表 内田 孝知(ウチダ タカトモ)

2018 年度“わ”の会新入会員　意見交換会記録

日　時　：2018 年 9 月 29 日(土)13 時～15 時　　場所：金沢区民活動センター会議室 AB

出席者　：新入会員　桜井　三浦　桃井　吉武　飯塚(懇親会のみ出席)

分科会代表　吉田(寺社を巡る会)　内田(古文書を読む会代理)　江口(ふれあいの道歩こう会)
佐藤(懐かしの映画を見る会)　鈴木(浮き雲俳句会代理)
内田(パソコンを使いこなす会代理)

運営委員会　内田　江口　深澤　鶴岡　杉山(記録)

配布資料：①平成 30 年（2018）“わ”の会新入会員意見交換会　②横浜金沢･金沢八景の歴史と魅力(チラシ)
③11 月 17 日(土)は区役所がおもしろい(チラシ)

内　容

1．本日の会の趣旨説明（内田代表）

新入会員の継続率向上を目的とし今回は第 4 回目となる、“わ”の会に溶け込んでもらうには、会員同士のコミュニケーションがとりやすい分科会に入会することが大事と思われ、すでに分科会で活動している方がいるが、分科会代表の説明を聞き多くの分科会に入会して頂きたい。分科会の例会は全て開催日が異なるため全ての分科会に入会が可能である。近く新分科会の発足が予定されている。

2．“わ”の会の理念と活動について（内田代表）　配布資料に基づき説明

3．新入会員自己紹介

･桜井さん　八景･文庫を知りたい、古文書を読む会･浮き雲俳句会に興味あり
･三浦さん　歴史が好きで入会した、当面寺社を巡る会で活動する
･桃井さん　入会制限のあるお高い会と思っていた。入会目的は応仁の乱の講演を聴きたい。パソコンを使いこなす会に興味あり
･吉武さん　早くから“わ”の会の存在は知っていた、入会の動機は金沢の歴史事典を見て。懐かしの映画を見る会･古文書を読む会に入会済

4．分科会活動の説明（各分科会代表）

･各分科会代表(代理)から会の概要･活動方針等の説明があった
･懐かしの映画を見る会に質問が多く寄せられた⇒開催場所･上映作品の選定等について佐藤代表から上映作品選定方法･著作権の問題等について回答があった
･ふれあいの道歩こう会のコース選定についての質問に、コース選定の方法･会発足から現在まで無事故であると回答があった

5．その他　（“わ”の会からの伝達事項）

1）“わ”の会の動きを知るため、“わ”の会ホームページ・わ”の会通信を見て頂きたい
2）“わ”の会代表･副代表・分科会代表の電話番号・メールアドレスが総会時配布の会員名簿(草色)に記載されているので活用して頂きたい
3）11 月 17 日（土）に開催されるフォーラム KANAZAWA2018 に“わ”の会も出展するので見に来て頂きたい
4）横浜金沢文化協会主催講演会「横浜金沢･金沢八景の歴史と魅力」を“わ”の会が協力するので聴講をお願いしたい

※ 閉会後新入会者と運営委員との懇親会がクレオールで開催された。

学　習　会

第４回学習会
『安達一族～鎌倉幕府と真言密教』

開催日：2018 年８月４日（土）
９：30～12：00
会　場：神奈川県立金沢文庫
地下大会議室
講　師：神奈川県立金沢文庫
学芸員　貫井 裕恵 氏

【概　要】

今回は 恒例の県立金沢文庫を訪れての学習会で、展示に関する講演を聴いて、展示を拝観するというものである。今回の展示の狙いは、有力御家人のそれぞれの拠点をつなぐネットワークの再現とのことである。

安達一族と鎌倉幕府

安達氏は、鎌倉幕府草創期からの有力御家人で、代々秋田城介を名乗り、鎌倉甘縄を拠点とした。しかし、その出自は不詳のようである。初代の盛長は、源頼朝配流の時から仕え、北条政子との縁をとりもったとか。２代 景盛は、真言密教に帰依し、高野山を拠点としながらも 政治に深く関与していた。３代 義景は、宝治合戦で三浦一族を滅ぼすなど、幕府での権力を確かなものとしていき、４代 泰盛のとき、最盛期を迎える。

この間、交通の要衝など、全国の重要な拠点を掌握していった。

また、泰盛は、京都との深い人脈をもち、幕府の書流を法性寺流から世尊寺流に変えている。六波羅探題だった金沢貞顕も瀬戸神社神額の揮毫を世尊寺経尹に依頼するなど、鎌倉における世尊寺流の隆盛の一端がうかがえるとのこと。

安達一族の拠点　鎌倉甘縄

甘縄神明宮には、源頼義が祈願して義家を授かったとの言い伝えがあり、源氏将軍家からの崇敬を受けていたという。安達盛長はその南側に邸宅を構えたといわれるが、近年では無量寺ヶ谷に安達氏の邸宅があったと考えられているとのことである。

安達邸の様子は、蒙古襲来絵詞に描かれており、肥後の御家人 竹崎季長が泰盛に恩賞を申請する場面とのことである。本絵詞は、霜月騒動で滅びた泰盛への追慕と感謝の意を込めて、恩賞を得た季長によって制作されたという。

また、無量寺ヶ谷には、安達氏菩提寺の無量

寺や観世音寺、松谷文庫などもあり、僧侶たちの修学活動の一大拠点として機能していたとのことである。称名寺 ２代長老の釼阿も若いころ、無量寺での講義を聴いていたという。その筆記録の紙背には、蒙古襲来で捕虜となった宋人との贈答詩が記されており、甘縄は国際交流の場でもあったという。

また、観世音寺には、秋田 四天王寺の救世観音（如意輪観音）と四天王を模刻して安置したと記されており、今回の展示では、そのもととなった大阪 四天王寺の救世観音と四天王を模刻したという宮城 四天王寺のものが出品されていた。

蒙古襲来と真言密教

高野山の入り口 慈尊院から高野山に至る登拝道と奥の院には、１町ごとに五輪塔形の仏塔が建っている。この建立は 幕府をあげての事業だったようで、後嵯峨天皇、北条時宗、北条政村などが施主となるなかで、安達泰盛は６本を奉納するなど最大の支援者だったようである。この町石の大曼荼羅供には安達一族も参列したと思われるが、その 20 余日後、一族は 霜月騒動で滅亡する。また、泰盛は自ら伝法灌頂を受けるほか、空海の著作や関連する密教経典を積極的に開版したという。安達氏は景盛以来真言密教と深い関りをもち、武家鎮護が不可分とされた僧侶の伝法灌頂では、泰盛は執権や連署に匹敵する権限をもっていたとのことである。

蒙古襲来のとき、泰盛は 御恩奉行を務め、御家人の信頼を集めたという。その一方で、異国調伏に効用のある三尊（舎利と不動・愛染明王）合行法のため、密教最大の秘宝 舎利を求めさせたという。釼阿も舎利を求めていたようで、称名寺三重塔に安置されていた金銅装宝篋印塔には この三尊が納められていた可能性があるとか。また、舎利は 東寺と室生寺のものが最も権威があるとされ、この両寺から入手したとされる舎利が展示されていたが、芥子粒よりも微小なものであった。

霜月騒動と安達氏の復権

隆盛を極めた安達氏も、1285 年、御内人 平頼綱の画策により 滅ぼされてしまう（霜月騒動）。このとき因幡に滞在していた一遍は、泰盛の死を告げたという。このことから、泰盛と一遍との間には何らかの関りがあり、一遍の鎌倉入りを阻止した馬上の武士は泰盛の可能性があるとのことだった。

金沢顕時も 泰盛の娘を正室としていたため、下総埴生荘に籠居させられる。

1293 年、頼綱が滅ぼされると、霜月騒動関連者の復権が認められ、泰盛の弟の孫 時顕が北条貞時の遺児 高時の後見となり、最末期の幕府を支え、そして命運を共にした。

富岡では、祇園舟神事の数日後、慶珊寺で大般若経 600 巻の転読が行われている。この大般若経は 泰盛の孫 貞泰が富岡八幡宮に寄進したもので、明治期の神仏分離により別当寺だった慶珊寺に移管されたものである。貞泰は霜月騒動後、叔母が顕時の正室だったことなどにより、金沢北条氏の庇護を受けていたようである。

雑　感

安達氏は、宝治合戦を無理やり起こして三浦氏を滅ぼし、権力を握ったとの認識があり、あまりよいイメージをもっていなかった。しかし、今回の講演や展示により、金沢氏や称名寺との類似性・関連性、真言密教との深い関りなどをうかがい知ることができ、安達氏に対する認識が一変したように思う。一遍の件もさることながら、図録には日蓮との関係にも触れられている。日蓮の瀧口での法難を救ったのは、泰盛の進言だとか。ちなみに、日蓮を佐渡に配流し、門徒を弾圧したのは、敵対していた平頼綱だとか。（田野実裕之　記）

2018 年度第４回学習会アンケート集計と実施報告

１アンケート集計

「『安達一族～鎌倉幕府と真言密教～』　講師：貫井 裕恵氏

		一般会員	委　員	計（出席率%）	ビジター	計	アンケート（提出率%）
出席者	男	49	5	54(51.4)	0	54	
	女	12	2	14(66.7)	0	14	51(83.6)
計		61	7	68(54.0)	0	68	51/61

２講演内容評価

A．たいへん良かった	B．良かった	C．普通	D．つまらなかった
39 名	11 名	1 名	0 名

- 声よし、大変聞きやすく、内容もわかりやすかった。またお願いしたいと思います
- 笑顔と口調が大変良かった。内容もわかり易く、レジュメも(まとめ)が記され理解し易かった
- レジメが素晴らしい、各項目ごとに「まとめ」があり、分り易い。安達泰盛が真言密教に関っていたことを知った
- 非常に内容が分かり易く、説明が丁寧、資料も良質
- 分り易い説明でした
- とてもわかりやすかった。面白かった
- 迫力有り、判り易い説明
- 非常に詳しく、よく理解出来た
- 今日は大変勉強になりました
- 講師の明快なお話でよくわかる講演内容であった
- 実に理解しやすい講演でした。豊富な知識を早口で説明され圧倒されました
- 歯切れのよい、知識の深い講演で非常によかった
- 熱心に講演していただき、分かり易かったです。安達一族はほとんど知らなかったのですが興味深く拝聴できました。声がとうりわかりやすい流れでした
- 大変ていねいに説明いただいた
- 身近なテーマ、理解しやすかった。弁舌爽やかな話しぶり、良
- これまでの文庫の講演の中では出色の出来、解説も極めて明快、しゃべりも上手い!!
- 詳しく、解り易く熱のこもった御講演であった。貫井先生の「展示会」へかける情熱が素晴らしいものと理解できた
- スライドを用いて分り易く説明いただいた
- 話のすすめかた、声質が大変良かった。資料の紹介やレジメのまとめ方も理解しやすく良かった。松下禅尼の話も知らなかった、よくわかった。徒然草とのエピソードも good
- 論理がしっかりしたお話。新しい説を立てられた

・諸資料(史料)を非常によく読みこんでおられ、感心した。内容の濃い講義ありがとうございました。
・鎌倉幕府を守った安達一族と有力御家人の講演が良かった。貫井講師の話方が大変良かった
・安達氏と真言密教との関係、甘縄と称名寺の関係等、興味深く拝聴しました。また一遍上人の鎌倉入りの図で時宗ではなく泰盛との説も興味がそそられました
・安達一族と金沢北条氏、称名寺をつなぐネットワークの話が言葉使いのわかりやすさから理解しやすかった
・安達一族と金沢北条とのかかわりが理解出来た
・安達一族に関しての話、大変判り易く、当地金沢との関連が興味深かった
・安達一族のこと・霜月騒動のことがよく理解できました
・安達一族について詳しくは知らなかったが、良くわかった
・安達一族と鎌倉幕府のかかわりが大変良く分かった。先生の大変勉強している姿勢がうかがえた。金沢文庫のホープとして活躍してほしい
・安達一族の活躍が良く分かった
・安達一族の活躍に鎌倉幕府の中での位置がとても強いと感じた、興味深く勉強できました。ありがとうございました。
・少しマイナーな安達一族についてくわしく講義して下さり大変参考になりました
・熱の入った話でよかった。もう少し時間があった方がよかったのではないかと思いました
・もう少しゆっくりと話してほしかった
・立て板に水、よく勉強されていることはわかりますが、話し方をもっとゆっくりとメリハリがあると聴衆にも分かりやすいと思う
・よく研究しており、資料も豊富だった、食傷気味、ゆっくり聞きたかった、画像と両方見比べるのが疲れた、もっとゆっくり学びたい。しっかり資料を掲示しての説明はすきなく素晴らしかった、充実した時間だった
・大変勉強された方
・歴史はこのような資料の積み重ねて研究されているのだなとしみじみ感じました
・鎌倉武士と真言密教との結びつきという新しい視点からの新鮮な説明がよかったと思います。特別展への意気込みも感じました

３貫井講師に希望する講演テーマについて

・東寺と空海
・真言宗についてお聞きしたいです
・真言密教について更にお願いして頂きたい　大寺院の内部組織の事を具体的に知りたい
・東寺百合文書について御説明いただきたい
・京都東寺に関する講演を伺いたい
・鎌倉幕府に関する講題を講演願いたい
・北条をささえる安達以外の御家人の動きも知りたい
・金沢北条氏について
・中世史に造詣が深い方ということで、次年度の学習会の講師にお願いしたらどうでしょうか
・是非　2、３回お願いしたい
・無量寿院の関連について詳しく講演願いたい

４学習会運営評価

A．たいへん良かった	B．良かった	C．普通	チェックなし
27 名	20 名	0 名	４名

・毎々のお世話役　感謝
・猛暑の中で御苦労様でした
・おつかれさまでした
・時間配分が良かった
・マイク、スピーカーの調整が良く、久し振りに講演を楽しむことが出来ました
・進行は時間が限られているので仕方がないが少し早すぎた
・何時も感じています
・間に休みを入れて欲しかった

５ “わ”の会について

・毎回のご準備と実行、ご苦労様です
・今後　他の施設でもマイク調整、マイクの使い方に気配りをお願いします

第５回学習会
『結 城 合 戦 か ら 享 徳 の 乱』

- 開催日：2018 年９月８日(土)
- 会　場：金沢地区センター　大会議室
- 講　師：立教大学 文学部 兼任講師　谷口 雄太 氏

【概　要】

鎌倉幕府滅亡後も鎌倉は東国統治の最重要拠点。足利尊氏、子の基氏を関東へ、鎌倉府の成立。足利氏の政権構想…東は鎌倉府、西は室町幕府がそれぞれ支配する。換言すれば、室町幕府は関東を直接支配していない。東国は 間接統治 or 支配を委任。

室町幕府の直接支配圏（近畿・中部・中国・四国）…室町殿御分国
室町幕府の間接支配圏（関東・東北・九州）…関東を鎌倉府が統治。東北地方は奥州探題、九州は九州探題が統治

鎌倉幕府滅亡

1333 年（元弘３年）五月、鎌倉は新田義貞の攻撃をうけ、追い詰められた北条高時以下は東勝寺で自害しはてた。ここに鎌倉幕府は約１４０年に及ぶ歴史に幕を閉じた。
その報せを伯耆船上山で受けた後醍醐天皇は、北朝の光厳天皇を廃し、京都に戻り中央機関として記録所、雑訴決断所、武者所などを設置し親政の実現を期した。しかし、尊氏らは後醍醐天皇の新政には直接的には参加せず、みずから奉行所を設置して諸国の武士を統率しつつあったので、武家と公家の対立がにわかに緊張する。天皇は義良親王、北畠顕家をして陸奥国府多賀へ下向せしめ、奥州二州の支配のみならず、足利氏を中心とした鎌倉の動向を牽制し、関東の領主層を吸収しようとした。それに対して足利直義がわずか四歳の成良親王を奉じて鎌倉に下向し鎌倉将軍府を開いた。それは関東十か国の管轄を目的としながらも、かつての東国御家人を吸収するものでまさしく鎌倉幕府の再現であり、天皇の奥州将軍府設置に対する尊氏側の巻き返し策であった。

閑話休題で、東大の入試問題が出題された。

A 幕府の運営や重要な政務の決定に参画した守護には，どのような共通点が見られるか。中央における職制上の地位にもふれながら，２行以内で述べよ。
B 今川・上杉・大内の各氏が，在京を免除されることが多かったのはなぜか。２行以内で説明せよ。
解答は
A 管領や所司に就き，三管領・四職と総称された有力守護は，畿内やその近国を含む３つ以上の領国をもつという共通点がみられる。（三管領・四職

とは室町幕府の官職である管領と侍所の長官とに任命される家のこと。三管とは、管領が斯波・細川・畠山の３家から、また四職とは、侍所所司が赤松・一色・山名・京極の４家からおこった称）

B 鎌倉府や九州探題の管轄地域との境界に領国をもち，それらの地域へ幕府の影響力を及ぼし，支配を安定させる役割を期待された。今川＝駿河、上杉＝越後、大内＝周防・長門

室町幕府は関東を直接支配していない。東国は間接統治 or 支配を委任。

では、誰に関東の支配を任せたのか？

それが、「公方 」と「管領 」

足利氏の東国支配（鎌倉府の統治構造）

公方足利氏（Ｎｏ.1）・・尊氏は建武式目を制定し、京都に幕府を開く。入京後も鎌倉を第二の根拠地とみなし、嫡子千寿王（後の義詮）を留め置き、独自の支配組織を用意、それが鎌倉府と呼ばれる権力体で、新政下の鎌倉将軍府の発展上に位置づけられる。千寿王は鎌倉御所と呼ばれ、それを補佐した高師冬、上杉憲顕が両管領とよばれ、鎌倉府の体制が徐々に整備されつつあった。東国における南朝勢力の後退に伴い一定の政治的安定をみた頃、1349 年（貞和 5 年）、鎌倉御所義詮は上京し、かわって弟の基氏が鎌倉公方となった。この鎌倉御所の交代はじつは当時の幕府内部の政治的対立、尊氏・高師直と直義の対立と深く結びついていた。直義は師直のクーデターで失脚し、その地位を師直とも密接な関係にあった義詮に譲った。基氏は当時 10 歳であり、実際の職務は高重茂や上杉憲顕によってなされた。これ以後基氏の子孫が鎌倉御所の地位を世襲するので、基氏をその初代とする。管轄エリアは最大、関東八か国、伊豆、甲斐、奥羽と東日本を統治

管領上杉氏（Ｎｏ.2）・・関東管領、鎌倉公方の補佐役。上杉氏は山内、扇谷、犬懸(いぬがけ、浄妙寺)、宅間（浄妙寺から永谷）の４家に分かれ、交代で関東管領に就任した。関東管領には初期は 2 人、のちには 1 人が在任した。

奉行衆、奉公衆・・幕府と同様政所（20 名内外の寄人を統轄していた。幕府および将軍家の財政をつかさどるほか、政所沙汰とよばれる債権や動産物権関係の訴訟も扱った）侍所（平時は守護，地頭，御家人などを管轄し，非違を検断し，罪人を処罰し，戦時には軍事を指揮した）問注所（訴訟機関、記録の保管や文書の過誤，詐欺などの裁判を司った）評定衆（執権のもとで裁判，政務を合議した）引付衆（訴訟事件おもに土地関係 を円滑，公平に審理させるもの）奉公衆（御目見以上の直勤御家人）守護設置。

奉公衆は足利一門、各国屋形、中小国人らが身分に応じて鎌倉で奉公＝在鎌倉制（関東地方の大名【後に東北地方も含む】が鎌倉府のある鎌倉に出仕して鎌倉公方に奉仕する制度）

屋形とは足利氏の一門や有力な守護大名のこと…千葉、結城、佐竹、小田、大掾、小山、長沼、宇都宮、那須氏ら。

寺社勢力・・寺社勢力も祈祷などを行って公方に奉公。

密教寺院系…鶴岡八幡宮寺、勝長寿院、永福寺、日光山など

禅宗寺院系…建長寺、円覚寺、寿福寺、浄智寺、浄妙寺など

その他、極楽寺（律宗寺院)、太平寺（尼寺）など

鎌倉幕府滅亡後も引き続き鎌倉は関東の政治・経済・宗教の中心地

公方足利氏と管領上杉氏が基軸となって、連携して東国を統治する。

鎌倉府体制の歴史的変遷 1　鎌倉府権力の形成

1367 年足利基氏 28 歳で死去。将軍義詮は基氏の子〖氏満〗をあとつぎとする。

関東管領上杉憲顕が引き続き補佐。1368 年河越直重・宇都宮氏綱反乱を起こす。
彼らはいずれも親尊氏派として尊氏在鎌時代に守護に任命されていたが、基氏＝憲顕の脱尊氏化の中でその地位をおわれたひとびとであった。反乱の背後には足利市＝上杉氏の支配権力の増大に対する伝統的な在地武士としての抵抗があった。その点は小山義政にも共通する事柄であった。この乱は隣接し合う小山氏と宇都宮氏の確執に始まったが小山氏は鎌倉府の裁定を拒否したのであった。
小山義政は 1382 年鎌倉府軍に攻められ、祇園城で自害した。しかし、その子若犬丸がふたたび常陸小田氏や陸奥田村氏の後援をえて再起し、1396 年まで抵抗した。しかし氏満が討伐のため大軍を率いてくると敗北。若犬丸の遺児である 7 歳の宮犬丸と 3 歳の久犬丸は地元の蘆名氏によって捕えられて鎌倉に送られ、ほどなく武蔵国六浦沖に生きたまま籠に入れられて海に沈められ、ここに小山朝政以来の嫡流は完全に途絶えた
鷲城、祇園城は 1989 年この鷲城跡にマンション建設計画が持ち上がったが、「鷲城跡の保存を考える会」が結成され、1991 年国の史跡として指定され、現在は公園となっている。

公方足利氏・管領上杉氏、北関東・奥羽へと戦線を拡大
武力により東国武家らの服属が実現（在鎌倉・公方奉公）
　＊『源威集』に見る東国武家の足利氏観
成立：1387～89 年頃　作者：下総・結城直光
問「御当家〔足利家〕ニ限ッテ代々権柄ヲ執リ、朝家ヲ守護シ、朝敵等ヲ平ケ、今モ諸侍ニ首頂ト仰カレ給ウ故ハ如何」
　答「答 、申スモ　ヲロカヤ」「国ハ日本、人ハ源氏一流ニ限ル」（一流とは一統のこと）
　＊結城直光…藤原姓

鎌倉府体制の歴史的変遷２　鎌倉府権力、崩壊への道

1379 年、氏満は京都の康暦の政変（土岐頼康らが管領細川頼之を除こうとした事件）に関与し上洛しようとした。この時関東管領上杉憲春が諫死した。
1399 年、大内義弘が足利義満に反乱、鎌倉公方満兼も奈良興福寺などへ参加を呼びかけ上洛しようとした。管領上杉憲定が諫言
1438 年、氏満も満兼も将軍義満の一字〖満〗をえての元服であったが、持氏の嫡子賢王丸が元服を迎えて名を改める際、本来ならば将軍に一字を拝領する慣例であったが、それを行わず「義久」と名付け、将軍義教の〖教〗の一字を頂戴せずに元服を強行。管領上杉憲実は面目を失う。

○足利義教（京都将軍）の認識

⒜「藩屏（はんぺい）の約に背き、梟悪（きょうあく）の企てを成す」（足利義教願文「水無瀬神宮文書」）
　＊藩屏の約…鎌倉公方家が京都将軍家をお守りするとの約束
・「鎌倉殿を置き申されて、京都の御守目（おんまもりめ）になし申され…御子々孫々 、坊門殿（足利義詮）の御代々の守たれと、くれぐれ申おかせ給」（『難太平記』）
・「京都に対し奉り…無二の忠勤」（『鎌倉大草紙』）
　→将軍が中心であり、上。公方は補佐役であり、下。
　＊実態としては西国支配者。理念としては全国支配者。

○足利持氏（鎌倉公方）の認識

⒜「京都・鎌倉の御両殿は、天子の御代官」（『鎌倉年中行事』）

→将軍と公方はともに、天皇の補佐役として同格。
　＊実態としても西国支配者と、東国支配者としてほぼ対等。
(b)「管領職は、公方様の御代官」(『鎌倉年中行事』)
・「(足利)持氏と(上杉)安房守(憲実)との御間、子細たるの由　承るの上は…持氏へ馳せ参るの条 、勿論なり。上と下と、比量せしむべきにあらず」(真壁文書)
・「(上杉憲実は、)普代の主君を傾け奉り、末代の嘲(あざけり)を恥て、…、俄に出家し給ひけり」(『鎌倉大草紙』)
→公方が中心であり、上。管領は補佐役であり、下。
(c)「呪詛(じゅそ)の怨敵(おんてき)を未兆(みちょう)に攘(はら)い、関東の重任を億年に荷なわん」(足利持氏血書願文「鶴岡八幡宮文書」)

鎌倉府の崩壊

1438～1439 年、永享の乱

永享 10 (1438) 年関東公方足利持氏が室町幕府にそむいた事件。
正長元年(1428 年)実子のなかった 4 代将軍足利義持が後継者を定めず，病死して将軍職が空位となると、持氏は自身が足利氏の一族であるという名分から将軍の座を望んだ。しかし、管領の畠山満家や三宝院門跡満済らの協議によって、将軍は義持の弟 4 人のうちから籤引きで選ばれることになり、この結果、天台座主義円が還俗して足利義教として将軍職を継承することとなった。持氏は不満を持ち、新将軍の義教を『還俗将軍』と軽んじ、義教の将軍襲職祝いの使者を送らなかった。さらに元号が永享に改元されても前年号の正長を使い続け、本来ならば将軍が決定する鎌倉五山の住職を勝手に取り決めるなど、幕府と対立する姿勢を見せ始めた。幕府は以前から関東の佐竹氏，宇都宮氏など諸豪族に保護を与え，関東公方を牽制していた。さらに関東管領上杉憲実もひそかに幕府に通じていたので，永享 10 年 8 月，憲実が持氏と不和となり領国上野に引上げたのを機に義教は今川氏，武田氏，小笠原氏らに持氏追討を命じた。持氏は幕府の東征軍と憲実軍に迫られ，その年 9 月，箱根足柄に敗れ鎌倉に退いたが，留守役三浦時高にも裏切られ，金沢称名寺に出家したが，義教の怒りはとけず，翌年 2 月，鎌倉永安寺を憲実軍に囲まれ自害した。鎌倉府、一時滅亡。

1440 年～1441 年、結城合戦

永享の乱において鎌倉公方・足利持氏が自害したため、関東地方の公方は不在となった。関東管領・上杉憲実も隠退の意思を固めており、関東地方の政局は幕府が執っていたが、依然として持氏に与した諸将の遺恨はくすぶりつづけていた。持氏には、五人の息子がいた。その四人の兄弟は永享の乱の時、炎に包まれる持氏の館から脱出するが、嫡男・義久は、乱の後、兄弟を代表して鎌倉公方の復権を幕府に願い出るが許されず、父の死の 18 日後の 2 月 28 日に自刃した。次男と三男が春王丸と安王丸の二人。彼らを保護したのは、当時、関東屋形と呼ばれるほどの実力を持っていた下総結城城・城主の結城氏朝。結城氏は、ムカデ退治の逸話を残す勇者・俵藤太こと鎮守府将軍・藤原秀郷の子孫。結城氏は、永享の乱で反幕府方(足利公方方)であったため、上杉氏 と不仲であった。持氏自害の翌年にあたる永享１２年(１４４０)、春王丸と安王丸が上杉憲実の討伐と鎌倉公方の復活を目論み、挙兵に及ぶ。これを受けた幕府は、伊豆国に隠退していた上杉憲実に復帰を求めた。憲実は隠退していたとはいえ、求心力や影響力においては関東随一の実力者である。「遅滞するならそれまでの功を無にする」とする恫喝にも似た幕府からの要請を受けた憲実は鎌倉に戻った。他に

も山内上杉清方・扇谷上杉持朝・犬懸上杉持房、駿河国の今川範忠、下野国の宇都宮持綱、信濃国の小笠原政康、甲斐国の武田信重、越後国の長尾実景なども幕府の命令を受け、総勢１０万ともいわれる軍勢で結城城を目指して進発した。結城城はその周りに「大船も浮かぶ」ともいわれる巨大な堀を構え、城側の岸には乱杭や逆茂木を備えた堅城。その城に持氏遺臣の木戸持季・一色予六郎・小山広朝・桃井憲義・岩松持国らも入城し、防備を固めた。従軍した諸氏の相関としては、結城方は主に結城一族に加えて、かつて足利持氏に与した有力武家の庶子らが目立ち、対する幕府方は上杉一族と関東管領に与した一派、幕命を受けた守護大名らによって構成されており、まさに永享の乱の遺恨を引きずったという色合いの濃い構図であった。約 1 年にわたる籠城戦が展開されたが、1441 年結城城は落城、氏朝父子は自害、安王丸と春王丸は女装して脱出を図ったが長尾実景に捕えられ、京都に護送される途中の５月１６日、美濃国垂井の金蓮寺で殺された。

1447 年、鎌倉府復活

永享の乱ののち鎌倉公方は置かれていなかったが，結城合戦でただ一人信濃大井氏のもとに逃れ助かった持氏の末子である永寿王は、将軍義成（後の義政）の一字をえて元服し成氏と称した。持氏の旧臣岩松持国等に支えられ、旧足利氏被官の奔走などがあり鎌倉帰還し公方就任となった。上杉憲実は実子憲忠に管領職を譲る。公方と関東管領による鎌倉府体制が再建された。

1454～1482 年、享徳の乱

成氏の公方就任は結果的には鎌倉府内部の対立を激化させるものとなった。

成氏のもとには上杉氏の勢力伸長に反発する結城、小山、千葉らの伝統的な豪族層をはじめ、旧足利被官たちが結集し一大勢力を形成し始めた。1450 年、江ノ島合戦、成氏は山内上杉派の長尾景仲らの西御門襲撃の計画を察知し、江ノ島へのがれた。しかし長尾氏らは腰越浦まで攻めてきて、そこで戦闘が行われた。四年後、享徳三年（1454 年）成氏は関東管領上杉憲忠を西御門の御所で謀殺した。東国はこの事件を契機に大混乱に陥った。上杉氏は憲忠のあとに房顕を据え、幕府に成氏の不法を訴え、援助を求める。幕府は成氏追討を決定し駿河守護今川氏に錦御旗を授けた。成氏は下総古河に入りそこを根拠地に決めたので俗に古河公方とよばれた。それに対し成氏に代わって鎌倉御所に就任したのが足利政知で豆州堀越（伊豆の国市）を根拠地にしたので堀越公方と称された。幕府未公認の古河公方成氏を中心とする下野、常陸、下総、上総、安房の伝統的豪族層に対して、幕府公認の堀越公方政知・関東管領上杉氏を中心とする相模、武蔵、東上野らの中小領主層との対立という様相であった。享徳の大乱は西国京都を中心とした応仁の乱に匹敵するものであったが、文明 14 年（1482 年）越後上杉氏の仲介で幕府と成氏の間で和睦が成立したこれを都鄙和睦（とひわぼく）の成立という。これによって成氏が引き続き関東を統治する一方で、伊豆の支配権については政知に譲ることになった。成氏による反幕府的行動は停止されたが、配下の諸将を多く持つ古河の成氏と、幕府公認の公方として権限を持ちながら関東に入れない堀越の政知の２人の公方が並存する状態が続くこととなった。将軍足利義政が関東管領側に立ってしばしば介入したにもかかわらず、享徳の乱は 28 年に及び、この間に応仁の乱が始まりかつ終了している。享徳の乱が応仁の乱に波及した、少なくとも享徳の乱を治められなかった将軍及び管領細川勝元に対する不満が応仁の乱の遠因の一つとなったとされる。

戦国は関東から始まった…関東は（京都＝応仁の乱に先駆けて）いちはやく戦国に突入する。

（佐藤 和広 記）

2018 年度第５回学習会アンケート集計と実施報告

１アンケート集計

		一般会員	委　員	計（出席率%）	ビジター	計	アンケート（提出率%）
出席者	男	61	5	66(62.9)	1	67	
	女	8	2	10(47.6)	2	12	39(54.2)
計		69	7	76 (60.3)	3	79	39/72

２講演内容評価

A．たいへん良かった	B．良かった	C．普通	D．つまらなかった
25 名	12 名	０名	１名

※チェック無し/1 名

・新しい視点で教えていただき、大変勉強になりました
・将軍ー公方ー管領を巡る構図がよく分った
・室町幕府と鎌倉府の統治構造について明確に説明いただいた。入試問題の地図ぬりはユニークな説明だった骨格がよくわかった
・室町時代と鎌倉府との関係がよくわかりました。室町時代は「室町・鎌倉時代」と呼んでもよいのでは。資料もわかりやすく作られている
・鎌倉公方と管領の対立関係が論理的に良くわかった
・研究成果をお教えいただきました。資料の纏め方が分かりやすい
・鎌倉公方の事が良くわかりました。最高の講演でした
・室町幕府と鎌倉府が並列して統治していたことがよく分った、双方の認識のずれが乱の原因。結城合戦の経緯がよく分った
・歴史の教科書に記載されていない内容なので興味深かった
・鎌倉時代滅亡後の関東の 150 年間について自分の知識の空白を埋めることができた。歴史が動くとき、人の感情のぶつかりあいが大もとにあることがわかり面白かった
・将軍家と公方の認識の「ずれ」が良く分った
・入試問題を取り入れた講義が良かった、参加型が特に良かった。鎌倉公方そのものが理解出来た
・室町幕府、鎌倉府の関係、その統治構造の理解が進み、多くの乱、合戦の構造が見えるようになった。室町時代はとっつきにくいとの先入観が大分取り除くことが出来た
・迫力あり。公方と管領の関係よく判った
・話の内容が細かいが、理解し易く、良かった。鎌倉公方と関東管領の関係が明確になった。新しい視点の歴史の見方が興味深かった
・説明がわかりやすかったです(内容にメリハリがありききやすかった)　ポイントをおさえて説明されたので理解できました

・歯切れが良い
・骨格を丁寧に説明され、各論が分り易かった
・鎌倉府の崩壊が詳細で理解出来た　(関東管領との対立が崩壊を早めた)
・レジメが読み易くまとめてあり、理解しやすかった
・理解しやすい説明でした
・新しい方向性のある内容でおもしろかった。若い講師の講演内容は今までに学んだものに対して今の研究の動向を知ることができ、よかった。享徳の乱の構図がわかりやすく聞くことができた
・鎌倉公方対関東管領＋京都将軍の構図で永享の乱・結城合戦・享徳の乱のプロセスがよく理解できました。対立関係の解消の構図もあった。応仁の乱で京都も混乱、関東どころではなくなる状況も
・公方(足利)　管領(上杉)の東国支配(鎌倉府の統治構造)を分りやすく講義して下さった
・従来と異った斬新的説明で関東の歴史が大変わかり易かった
・講師の話し方、声の質が聞き取りやすく、話はわかりやすかった。室町時代の鎌倉をはじめとする関東の歴史上ふれられない事柄がよく理解できた
・声が大きく、はっきりして良い。話がよく整理されており、わかりやすい。室町幕府の関東支配構造が良く理解できた
・①足利の持場、立場がわかった　②講演の説明書が読みやすかった
・具体的にバックボーンが解りやすく、良かったです
・足利幕府・鎌倉公方・関東管領との役割が良く分った(結城合戦から享徳の乱迄良く分った)
・系統的に明確な説明でよく理解出来た
・モヤモヤをクリヤーにして頂いた
・説明が詳しかった、但 言葉が大小有りわからないところあった、早口も
・足利と鎌倉と上杉の関係が良く？、解った　(時間の関係もあるのでしょうが、少し早口で聞き取りにくい所が有りました)
・レジュメが解り易い。当「金沢」との関連、例えば小山若犬丸について、も少し説明あってもよかった
・一寸かわった講義内容で良かった。人物の互の関連がややこしい。資料のまとめ方が今一の感あり
・前置きが長すぎて、前半は得るものがなかった、後半も同様

３谷口講師に希望する講演テーマについて

・次回も問題を解く方式の講義を望む
・今後も本日のような講演を聞きたい
・来期　谷口雄太氏の「長尾景春の乱と長享の乱」(仮題)が予定されており、非常に期待し、楽しみにしています
・①観応の擾乱　②享徳の乱　③足利将軍家
・後北条が相模に根を張るときの様子、上杉との関係を聞きたい
・中世史を継続的にお願いしたい
・各乱の具体的合戦について、特に金沢合戦を含めて
・江戸幕府への道のりを伺いたい

４学習会運営評価

A．たいへん良かった	B．良かった	C．普通	チェックなし
17 名	17 名	２名	３名

・最高の講師をありがとうございました
・冷房が強すぎる、寒かった
・休憩時間が 20 分あったので次年度の会員受付もゆっくりできた
・内容が新鮮であった
・いつものことながら、御苦労さまです

５ “わ”の会について

・座学と探訪をまぜて下さい
・小栗忠順(上野介)について講演をお願いします
・今年の講師の選定がとてもよいと思います。若い講師の講演は今までの自分の認識を変えることができ、よいと思っています
・毎回、御苦労様です
・同様の企画を期待します

第６回学習会
『六 浦 地 区 を 訪 ね て』
探訪実行委員会

開催日：2018 年 10 月 12 日（金）
ガイド：探訪実行委員会
コース：朝比奈切通し→熊野神社→金井家表門→上総介の塔→鼻欠け地蔵→宝樹院 と常福寺跡（昼食）→諏訪神社→光傳寺（講話）→上行寺→上行寺東やぐら群遺跡→米倉陣屋跡→金龍禅院（解散）

【概　要】

今回の探訪は、５月の学習会で真田氏が講演された「朝夷奈切通しと峠村と六浦道周辺」を基本に、探訪用にアレンジし、六浦地区の寺社や名勝・史跡を訪ねるものである。

朝方まで小雨が残り心配される空模様であったが、９時過ぎに第１班が探訪のスタートを切った。

最初に訪れたのは、今回探訪のハイライトの一つである朝夷奈切通し。鎌倉時代の今に残る数少ない遺構の一つで、鎌倉の７つの切通しでは唯一国史跡に指定されている。また、当時の面影をよく残しており、往時を偲ぶことができた。この切通しは、朝夷奈三郎義秀が作ったとされることからこの名が付けられている。

この道は、鎌倉と六浦を結ぶ物流などの交易や、防衛上の重要な道として発展、また、金沢塩を鎌倉に運んだことから「塩の道」とも呼ばれていた。江戸時代には観光ルートとして大いに利用された。

切通しから脇道を少し登って行くと、森厳な雰囲気の中に鎌倉時代からの由緒ある熊野神社が鎮座している。鎌倉の鬼門にあたるこの地に朝夷奈切通しの整備に際し、守護神として熊野三社を勧請したのが始まりとされる。境内はよく整備されており、その中に峠村の村方三役（名主、組頭、百姓代）の名が刻まれた石灯篭が立っていた。

次に訪れたのが環状４号線に面する金井家。この家は江戸時代を通して代々峠村の名主を務めてきた佐左エ門家で、今回は風格ある表門を見るのみであった。

金井家を後に環状４号線を八景側に少し下った左手に鼻欠け地蔵がある。金沢区に残る摩崖仏の一つで、相模国と武蔵国の境に作られている。現状は、会報第 66 号に伊達氏が投稿した「哀しき鼻欠け地蔵」のタイトルそのもので、数年後には石碑のみになるような気がして残念である。

環状４号線から小さな路地を入った小高い丘の上に宝樹院がある。この寺は小泉純一郎元首相一族の菩提寺としても知られている。本堂に隣接する阿弥陀堂に祀られている阿弥陀三尊像は、近年行われた解体修理の際、胎内から納入品が発見され、平安時代に建立された常福寺の本尊であったことが分かった。この日は幸運にも開扉して頂き拝観することができた。この像は平安時代の作で、ふっくらとした平安時代の女性を思わせる優美な姿が印象的であった。

宝樹院で昼食を済ませた後、川地区の鎮守である諏訪神社に立ち寄り次の訪問先である光傳寺へ。江

戸時代の後期にこの寺の裏山・光傳寺山は眺望の名所として賑わったとされているが、今回登ってみたが住宅地が見えるだけで当時に思いをはせることができなかった。この寺は金井家の菩提寺でもあり、歴史を感じさせる墓石が並んでいた。境内を散策後、住職より法話を頂き、寺の生い立ちや金井家とのつながりなどを拝聴した。

次に訪れた上行寺は、この地域の中心的な寺院だけあって境内はきれいに整備されていた。この寺には、日蓮上人との船中問答や荒井妙法（日荷上人）にまつわる言い伝えが数多く残る。また、裏山には南北時代に兼好法師が庵を結んで住んだ跡がある。

探訪も終盤、疲労気味の体には最後の難所である急な階段を上り上行寺東やぐら群遺跡へ。この遺跡は、頼朝が建立した龍華寺の前身とされる浄願寺の跡との見方が強まっている。

次に現横浜市域で唯一の藩であった六浦藩が置かれていた米倉陣屋跡を訪ねる。この藩は明治の廃藩置県まで８代続いたが、現在ではそのほとんどが住宅地などになっており、当時の面影は全くない。ただ米倉家の子孫が現在もこの地に住んでいることと、明治以降の米倉家の墓が住宅地の奥まったところに残されていることが、わずかに往時を偲ばせる。

最後に訪れたのが金龍禅院。境内の最も高い昇天山にある九覧亭は、心越禅師により金沢八景の８つの景色の他に富士山を入れた９つの絶景が眺められるという意味で九覧亭と名付けられ、往時は多くの観光客で賑わったようである。また院内には金沢４石の一つである飛石がある。

当初の予定通り 15：30 頃に金龍禅院門前で解散式を行い、探訪は無事終了した。

今回の探訪は成功裏に終わったと思われるが、その要因としてはガイドの努力に負うところが大きかったと思う。そのことは探訪後のアンケートにおいて破格の評価がなされたことでも頷ける。質の高いガイドによって探訪の満足度を高めて頂いたことに改めて感謝したい。

手前味噌ながら、今回の探訪の責任者を務めた鶴岡氏は、下見の他に個人的に数回このルートを歩き、現地の確認に怠りがなかったと聞いている。このような皆さんの努力が天に通じ、心配された空模様にもかかわらず最後まで天気がもってくれたのではないだろうか。（山腰策次郎　記）

2018 年度第６回学習会(探訪)アンケート集計と実施報告

１アンケート集計

		一般会員	委　員	計（出席率%）	ビジター	計	アンケート（提出率%）
出席者	男	31	5	36(34.3)	1	37	
	女	11	2	13(61.9)	1	14	34(87.2)
計		42	7	49 (38.9)	2	51	34/39

２探訪内容評価

A．たいへん良かった	B．良かった	C．普通	D．つまらなかった
27 名	６名	１名	０名

- 見学コースが充実していた
- コースもよく、ガイドも適切
- 今迄に何度も訪れている場所ですが、ガイドさんの心こもった案内で楽しい探訪となりました
- 一人では行けない探訪、そしてガイド有難かったです。おかげ様で完歩できました
- ２度訪れたところばかりでしたが、詳しく親切な説明がありとても良かったです
- ガイドの説明が具体的でよかった。よく勉強しておいでです。常福寺アトにもはじめていった
- ４班は女性が多かったので女性むけのガイドをしていただき改めて金沢の歴史に興味をもった
- ガイドの案内は大変良かった。足の弱い数人に気づかってくれて、うれしかった。独自に調べられた内容をていねいに説明して下さり、ユーモアもあり、本当によかったです
- １０年余ぶりの朝比奈、六浦探訪、かみしめる様に、ガイド(金久保さん)の話に聞きいった。
- ３班のガイドは素晴らしい、説明が良かった
- 丁寧な説明で良く分った
- 説明がていねいで良くわかりました
- ガイドさんの説明、良かった（２人）
- 説明に、班によって差がある
- 結構きつかったが最後まで頑張った。熊野神社は初めて行った
- 永年住んでいる地元のことが良く判りました
- 長年住んでいるけど、地元のこと分ってない、改めて知ることが出来、感謝します
- 前から興味を持っていたが、行く事がなかった場所へ行けた、説明もよかった
- 知識としては知っていたが、実際に訪れたのははじめてだった
- 何度も探訪している所であったが、久し振りの六浦地区で改めて認識するものもあり、良かった。但しレジュメの説明内容に少しもの足りなさを感じた
- 何回か歩いた道でしたが、又新しい発見・見所がありました
- 地元でも知らない事ばかりで大変興味深い事ばかりでした
- 六浦は３～４回目であるが、今までにないスポット、説明があり良かった
- 金沢地区(六浦地区)の歴史を再確認できて良かった
- 土地の社寺のことが良く分った
- 心配したが天候にめぐまれた。歩くのにちょうどよかった
- 時間に余裕があってウオーキングが楽しくできました。又その為光伝寺の裏山に登れた事、又熊野神社へ行けた事、光伝寺の講話を聞けた事等、良かったです。
- 普段、車で通り過ぎることが多いが、ゆっくり見られて、新たな発見がありました

※ガイドの方々　A 班：三浦　B 班：金久保　C 班：白井　D 班：石原　E 班：田野実　(敬称略)

３今後の探訪に選んで頂きたいテーマは有りますか

・金沢区内のこの様な機会があること、大変良いと思います
・浦賀(港の方ではなく、古道の方を歩きたい)
・探訪を増して頂きたいと思います
・広重の金沢八景の今を訪ねるというのもおもしろいかも
・金沢区内でさがすのは難しいので区外、近場の市外でもよい。福浦の新しい面白い工場があればそれもよい
・金沢の旧海岸めぐり。歩かなくてすむ施設見学も良いのでは
・他の地元もお願い致します
・三浦一族をテーマにした企画を願いたい　※金沢との縁は少し薄いかも知れませんが
・白山道

４学習会運営評価

A．たいへん良かった	B．良かった	C．普通	チェックなし
19 名	11 名	1名	3名

・ガイドの皆さん有難う
・光伝寺の「法話」を含め、なかなか良いコース設定であった
・郷土史に沿った歩き、有効でした
・ガイドの説明がわかり易く良かったです
・配慮も行き届いていたと思います。安心して参加できました
・良く下見していただきました
・大変な御苦労だったと思います、５班に小分けした事は巡拝には良かったと思います
・集まった順に班が出来て出発したこと
・ビジターでしたが面白く、次回も参加しようかなと思いました
・いつもきちんとした運営ありがとうございました
・案内係の方々をはじめ、運営の方々、大変お疲れ様でした。ありがとうございました
・説明する方がよく調べられて大変勉強になりました。又年寄にも適当なコースであった。気候も涼しく快適だった

５“わ”の会について

・入会２年目、１年目は色々忙しく出席０でした。今年は今回出席、とても楽しいです。これからも宜しくお願いします
・委員の方々に感謝です
・世話役、いつもながら御苦労様です

「人生 90 年時代」

“わ”の会会員　鶴岡 重典

世の中では「人生 100 年時代」が喧伝され始めていますが、現実には「人生 90 年時代」というところが実態です。人生 90 年の根拠は 75 歳の女性の平均余命が 15.76 歳（2016 年現在）であるところからきています。長寿は人類の長年の夢であり、それが実現することについて異論をはさむ人はまずいないと思います。

先日、横浜国立大学主催の「2025 年・超高齢化社会の未来を考える」という講座を受講しました。その中で高齢者に対して行ったアンケートで高齢者が不安に思っていることとして、「お金」「健康」「孤独」が上位３つとして挙げられていました。

まず、「お金」ですが経済的基盤がしっかり安定していないと不安なのは誰しも同じです。幸い、現在は未曽有の低金利。デフレ気味の経済の下では、ベースアップのない年金生活者にはフォローの風となっています。

次に健康面ですが、長年、家族を養うために無理をして仕事をしてきた人が多いわけですから体にガタが来ていることは致し方のないこと。重要なことは、ここでリセットして再度健康を取り戻すことです。具体的には、まず健康状態の総点検。悪いところを認識して直すこと。あるいはこれ以上悪くしないことが肝要です。大抵の人は生活習慣病の要素の１つや２つは持っていると思われます。そこで対応策ですが、お勧めはウォーキングです。「ウォーキングは魔法の薬」といわれますが、その気になれば誰でもできて、しかも時間もお金もそれ程かからないという大変便利な薬です。

「お金」と「健康」は老後を生きるうえで必要な条件になりますが、「孤独」に陥っては何にもなりません。家族や社会とのつながりがあってはじめて人は有意義な生活を送れると思います。

同様のアンケートで、70 代、80 代の人が大切にしたいこととして、「社会と関わっていたい」「何かを残したい」という回答が多かったようですが、これも充分頷ける回答であると思います。

翻って、我が身に置き換えると、２年前に退職した時には、残念ながら地域社会に基盤を全く持たなかったのですが、“わ”の会の活動を通じて何とか多くの人たちと知り合うことができるようになりました。僭越ながらここに来て若干ではありますが漸く、お役に立てるようなことができるようになったと感じています。

同講座のデータで、こんなものがありました。2007 年生まれ（現在 11 歳）の半数は 107 歳まで生きる。ということは、110 歳あるいは 120 歳まで生きる人も結構いるということです。

我々の孫世代は、本当に大変だなあ！

『寺社を巡る会』活動記録　平成 30 年度第４回～第６回

第４回　「五木寛之・百寺巡礼」ＤＶＤ鑑賞

開 催 日：平成 30 年８月２日（木）

場　　所：金沢地区センター　２階大会議室

参加人数：男性 29 名　女性７名（内ビジター１名）　合計 37 名

ＤＶＤ鑑賞「五木寛之・百寺巡礼」

唐招提寺　律宗総本山　創建 天平宝字３年(759 年)　奈良市五条町

法 隆 寺　聖徳宗総本山　創建 推古天皇 15 年(607 年)　奈良県斑鳩町

那 谷 寺　高野山真言宗別格本山　創建 養老元年(717 年)　小松市那谷町

大 乗 寺　曹洞宗　創建 弘長３年(1263 年)　金沢市長坂町

唐招提寺は鑑真和上・法隆寺は聖徳太子という偉大な人物が基となり創建された。その後人々は偉大な人の徳を後世に伝えるため大きく発展させ、現代に引き継がれた。併せて古代様式の建造物・仏像などの文化財が重要な遺産として残されている。改めて映像を通して千年の歴史の重みが解ったような気がする。那谷寺は白山信仰を源に、真言宗教義と連携させ古代より続く古刹。

大乗寺は禅宗の厳しい修行の場と知られ、多くの雲水が修行に励んでいる。両寺とも、北陸の山中で人々に宗教の在り方を静かに教えていると感じた。今回見た、寺院の創建の意義、環境がそれぞれ違っているが、日本の風土に根付き人々の大きな拠り所なっていると思う。　（杉山茂　記）

吉田代表の挨拶

ＤＶＤ鑑賞・会場の様子

第５回　　鎌倉の歴史文化遺産を学ぶ

開 催 日：平成 30 年９月６日（木）
参加人数：男性 28 名　　女性７名（内ビジター１名）　　合計 35 名
コ ー ス：鎌倉駅西口（集合）～佐助稲荷神社～銭洗弁天宇賀福神社～葛原岡神社（昼食）
～鎌倉歴史文化交流館（講話、見学、解散）

鎌倉駅西口の時計台広場に集合する。今回のテーマは「隠れ里」。猛暑も一段落したなか、まずは佐助稲荷を目指して、西に向かう。

佐助稲荷の下社で、佐助稲荷についての説明を受ける。祭神は宇迦之御魂命、すべての食を司り、稲の生育を守る神で、商売繁盛の御利益もあるという。源頼朝が伊豆に配流されていたころ、夢枕に現れた「隠れ里の稲荷」と名のる翁に挙兵を勧められたとのこと。開幕後、「隠れ里」と呼ばれるこの地に祠を見つけて、社を建てたという。佐殿と呼ばれた頼朝を助けたことから「佐助」の名が付いたと言われる。

御霊神社の面掛行列はここに由来するとの説明もあったが、その根拠は確認できなかった。さらに赤い鳥居のトンネルを登っていくと、拝殿。境内で一服してから、階段を上って、本殿。そこには、小さな狐の置物がいたるところに 所狭と奉納されていた。

次いで、山路を通って、鳥居を下に見る丘にでる。ここが銭洗弁天宇賀福神社。祭神は、本宮は市杵島姫命、洞の中にある奥宮が弁財天である。

文治元年（巳年、1185 年）の巳の月 巳の日に頼朝の夢枕に宇賀神がたち、「我は隠れ里に住む宇賀神なり。西北に湧き出している霊水で神仏を祀れば、国内は平穏に治まる」と告げたという。頼朝は その泉を見つけ、岩窟を掘らせて宇賀神を祀ったのが この社の始まりとされる。なお、この年は 平家が滅亡した年でもある。

また、北条時頼もこの信仰を促進し、正嘉元年（巳年、1257 年）に銭洗いの効用を実践し、治世に役立てたという。これが今に続く銭洗いの始まりとされる。

山路を抜けて、葛原岡神社に向かう道に出る。神社の前にある日野俊基の墓を参拝し、ガイドの説明を聞く。この神社の祭神は日野俊基。明治になって創建された。日野俊基は 後醍醐天皇の側近で倒幕を図るが、その計画が露見し、鎌倉幕府滅亡の３ヵ月前にこの地で処刑された。

来た道を戻って 銭洗弁天への隧道を脇目に坂を下りきり、隧道を２つ抜けたところが 鎌倉歴史文化交流館。旺文社創業家の別荘を鎌倉市が寄付などにより取得して、昨年、開館された施設である。世界文化遺産申請に際し、「武家の古都・鎌倉」の遺産価値をガイドする予定だったとか。まず、学芸員からこの施設の目的や経緯、概要などを聞き、ついで別館と本館を見学する。別館では 鎌倉で発掘された土器や陶磁器が展示されており、物資などの交流の広さを感じる。

本館では、鎌倉の歴史的・文化遺産が通史として展示されている。

また、この地は かつて無量谷と呼ばれ、鎌倉時代には 安達氏の邸宅やその菩提寺（無量寿寺）があった所とのことである。（田野実裕之 記）

佐助稲荷神社拝殿

鎌倉歴史交流館での講演風景

第６回　六　観　音　巡　り

開 催 日：平成 30 年 10 月４日（木）
参加人数：男性 26 名　　女性６名　　合計 32 名
コ ー ス：杉本観音バス停（集合）→杉本寺（昇堂）→来迎寺（昇堂）→宝戒寺（昇堂）→婦人子供会館（昼食）→教恩寺（昇堂）→別願寺→安養院（解散）

杉本観音バス停よりスタート。３班に分かれ鎌倉ガイド協会の方々に案内していただく。

杉本寺は坂東三十三観音霊場第一番札所でもある。文治五年（１１８９）の出火で伽藍は焼失したが三体の観音様は自力で庭の大杉のもとに避難したことで、人々が「杉の本の観音」と呼ぶようになったと吾妻鏡は伝えている。本堂には運慶作とされるもの等の多くの仏像がある。また後方の山には杉本城があった。

来迎寺は鎌倉三十三観音霊場第五番札所。鎌倉で最も美しいといわれている如意輪観音像を拝観し皆で感動すると共にその美しさにみとれた。創建は永仁元年（１２９３）で一向上人の開山である。

宝戒寺は鎌倉三十三観音霊場第二番札所。鎌倉八幡宮近くの道を通り萩寺として親しまれている宝戒寺がある。今年は２４号の台風の塩害によりほとんどの萩の木が傷んで、白い花が少しばかり咲いていた。毘沙門天像の手前に准胝観音が祀られている。昼食は婦人子供会館をお借りして休憩をした。

近くの教恩寺より午後のスタート。教恩寺は鎌倉三十三観音霊場第十二番札所。聖観音は厨子の中に安置されていて、六道では地獄道の衆生を救済すると位置づけされている。創建は延宝六年（１６７８）で比較的新しい。

別願寺は鎌倉三十三観音霊場第十三番札所。魚籃観音が祀られている。お寺さんのご厚意で本堂あがることができ、近くでたいへん珍しい仏像を拝観できた。また、境内には永享の乱を起こした足利持氏のものとされる供養塔がある。

最後に鎌倉大町の安養院を拝観した。鎌倉三十三観音霊場第三番札所。本尊の阿弥陀如来坐像の背後に札所本尊の千手観音立像が安置されている。千手観音立像は１０世紀末に凋然という僧が宋から持ち帰った観音立像で、主に餓鬼道を救済する菩薩として位置つけされる。　　（瀬川健次 記）

来迎寺本堂

別願寺の足利持氏供養塔

「ふれあいの道歩こう会」実施概要 No.23

江口　正彦

独自コース 61 番「黒斑山と水の塔山～籠の塔山」１日目　(通算 143 回)

標高 2000mの高峰高原は雄大な山容の浅間山の西に続き車坂峠を中心にしたなだらかな高原です。この高原にある黒斑山と池の平湿原、東籠の塔山～水の塔山に行きました。初日の黒斑山（くろふやま）は、浅間山の第一外輪山の最高峰で、標高は 2,404m。「花の百名山」のひとつに挙げられています。
山頂の西側にある車坂峠を登山口とするコース。車坂峠から約３ｋｍの山道を登って約１時間４０分。登頂まで長時間を要しないこと、浅間山の好展望地であること、そして高山植物の豊富な花の百名山としても有名です。

宿泊は、ランプの宿高峰温泉で、標高 2000m高峯山の懐にひっそりとたたずむ秘湯です。雲上の野天風呂は実に素晴らしい。　宿では自然観察会や野鳥の教室、星の観察等のプログラムがあり、星の観察や又出発前には野鳥の教室に参加しました。

実　施　日：平成３０年７月１８日(水)　天候：晴れ

歩行距離など：歩行時間 約 4.5 時間　歩行距離 約６ｋｍ　参 加 者：11 名(男性７名 女性４名)

コース所在地：長野県小諸市、群馬県嬬恋村

交　　通：東京駅 6:52(あさま 601 号)発⇒8:18 着 佐久平 8:35 発(バス)⇒9:35 着 高峰温泉
高峰温泉(ランプの宿)(宿のバス)10:03 発⇒車坂峠 10:10 着

コースと時間：車坂峠 10:10 発⇒避難小屋（シェルター）11:55（昼食～12:25）⇒槍ヶ鞘 12:30 分⇒トーミの頭 12:48⇒黒斑山山頂 13:08 着（オレンジタイム）13:30 下山⇒中コース分岐 14:06⇒車坂峠 15:37⇒高峰温泉 16:25 着

ご存じでしょうか！　黒斑山の火山活動

黒斑山の活動が始まったのは、10 万年ほど前にさかのぼるといわれ、浅間火山の最も古い山体である。その後、標高 2800～2900m ほどの成層火山に成長したとされる。 2 万 3000～2 万 4300 年前、プリニー式噴火に伴って大規模な山体崩壊が生じ、馬蹄形カルデラを形成した。現在の黒斑山は、その際崩壊せずに残った西半分である。この山体崩壊による岩屑なだれは、北に向かったものは吾妻川に流入し、さらに下流の利根川に流入して、前橋まで達し、前橋台地を形成した。南に向かったものは、佐久市岩村田西方の塚原付近にまで到達し、多数の流れ山を形成した。この岩屑なだれのうち、北に向かった前者は通過した地区に由来して応桑岩屑なだれ、南に向かった後者は塚原土石なだれなどと呼ばれる。山体崩壊後も活動は続いたが、2 万 1000 年前頃には黒斑火山としての活動を終えたものと考えられる。

禅庭花(ぜんていか)喜色満面夏高地　一視

黒斑山山頂(後ろは浅間山)

禅庭花(ニッコウキスゲ)とハクサンフウロ

独自コース61番「黒斑山と水の塔山～籠の塔山」２日目　(通算143回)

２日目は、当初計画の逆コースをとり、池の平湿原を散策し東籠の塔山(2,227m)から水の塔山(2,202m)を登り高峰高原に下山。高峰温泉に戻り温泉に入浴しました。林の中の山行中は鳥の鳴き声が多く聞けました。

池の平湿原は、標高 2,000m地帯にありながら 3,000m級山岳地帯に見られる植物も混在する高山植物の宝庫です。高山植物の女王「コマクサ」の群落、アヤメ、ノハナショウブ、ハクサンフウロ、ヤナギラン、マツムシソウ、カラマツソウ、キバナオダマキ、ゴゼンタチバナなど多くの高山植物が見られ、湿原一体が見ごたえのある花畑でした。

実　施　日：平成３０年７月19日(木)　天候：晴れ

歩行距離など：歩行時間 約４時間　歩行距離 約６ｋｍ　参 加 者：11名(男性７名 女性４名)

コース所在地：長野県小諸市、群馬県嬬恋村

交　　通：高峰温泉（宿のバス)9:00 発⇒池の平 920 着

高峰温泉 16:17(バス)発⇒17:20 分着 佐久平駅 17:57(はくたか 570 号）発⇒19:12 着東京駅

コースと時間：池の平 9:25 スタート⇒池の平三方歩道を経由して三方ケ峰へ、三方コマクサ園見学し、アヤメ東歩道経由し池の平駐車場に 10:45 戻る。東籠の塔登山口 11:05 スタート⇒東籠の塔山頂 11:40(昼食)12:15⇒水の塔山 13:10⇒高峰温泉 14:25 着

ご存じでしょうか！　愛称は八ヶ岳高原線(JR 小海線)

JR 小海線は小淵沢駅（山梨県北杜市）から小諸駅（長野県小諸市）までを結ぶ、全長 78.9 km の東日本旅客鉄道の鉄道です。

八ヶ岳の麓、標高 1000m を超える野辺山高原を走り、清里駅―野辺山駅間には標高 1375ｍの JR 鉄道最高地点があります。野辺山駅はすべての JR の駅で最高の標高にあり（1345.6m）、あわせて９駅が JR 駅標高の TOP10 に入っています。小諸に向かって左手に八ヶ岳を臨み、高原地帯を走ったのち、千曲川沿いの谷間を抜け、佐久平地域に入ると市街地となり、通勤通学の足としても利用されています。

佐久平駅は北陸新幹線との接続駅で、岩村田駅と中佐都駅の間は高架となり、新幹線の上を走るという全国でも珍しい構造になっています。小諸市に入り、乙女駅からはしなの鉄道と並走して終点の小諸駅に到着します。

高原は百花繚乱夏満開　一槻

池の平湿原

水の塔山山頂への岩道を登る

独自コース 63 番「妙法ヶ岳」(通算 144 回)

妙法ヶ岳は、奥秩父にある妙法ヶ岳(1,332m)、白岩山(1,921m)、雲取山(2,017m)の三山を三峰山と呼び、三峯神社から雲取山への登山道にある最初の山であり、三峯神社の奥院・奥宮がある山です。

今回は、この妙法ヶ岳への登頂と三峯神社のお参り・散策を楽しみました。

妙法ケ岳の登山道は、紅葉・黄葉が見られました。奥宮への登山道は参拝客が安全に登れるようにパイプの階段が最近整備されていました。奥宮（山頂）からは両神山他奥秩父の山々が眺められました。また、三峯神社の拝殿は日光東照宮を思い出すような大変立派装飾のもので、三峯神社の周辺も素晴らしい紅葉を見ることが出来ました。

実　施　日：平成３０年 10 月 25 日(木)　天候：快晴
歩行距離など：歩行時間 約４時間 20 分　歩行距離 約７ｋｍ　参 加 者：14 名(男性 12 名 女性２名)
コース所在地：埼玉県秩父市
交　　通：往路：西武池袋駅 6:50 発［特急 秩父３号 西武秩父行）→ 8:13 着 西武秩父駅
西武秩父駅前 8:20 発[ジャンボタクシー利用］→ 9:20 着 三峯神社駐車場(バス停)
復路：三峯神社バス停[西武観光バス］14:30 発 → 15:45 着 西武秩父駅
西武秩父 16:08 発 → 17:00 着 飯能[乗換］急行 17:08 発 → 17:59 着 西武池袋
コースと時間：駐車場で体操、トイレ。駐車場 9:40 スタート→鳥居(妙法ヶ岳分岐)10:00→鳥居(東屋)10:28→10:50「妙法ヶ岳」11:03→11:15 鳥居(東屋)[昼食]11:45→炭焼平 11:57→鳥居(妙法ヶ岳分岐)12:33→13:00 三峯神社(鳥居)[50 分散策]13:50→13:55 三峯神社バス停

ご存じでしょうか！　妙法ヶ岳と三峰山

三峰山とは、妙法ヶ岳（1,332m)、白岩山（1,921m） 、雲取山（2,017m）の総称であるが、現在では、三峯神社の周辺、三峯神社と同じ位置であるとされている。三峰山は修験道の山であり、かつては雲取山に三峯神社の奥の院があったと云わる。
現在、雲取山、白岩山には、それを思わせる遺物はなく、妙法ヶ岳のみが、当時の雰囲気を伝えている。

三峯神社の歴史は次のように語られている。「東征の折、雁坂峠付近で道に迷って難渋した日本武尊は、現われた白き狼に導かれて現在の三峯神社付近に達し、危機を脱する。
尊は、これは神の導きによるものと悟られ、この地に宮を建て、伊奘諾・伊奘冉の二神を勧請した。翌年、尊の足跡を訪ね三峰山に登った父である景行天皇は、この奇跡に感激し、また、雲取、白岩、妙法三山のすばらしさを称え、この宮に三峰宮の称号を送った。

晩秋の秩父山間(やまあい)色づきて　　一視

妙法ヶ岳山頂からの両神山

三峰神社奥院

「懐かしの映画を観る会」　鑑賞録 No.28

代表　佐藤　晃

平成 30 年度第８回　鑑賞会

〈鑑賞日：2018．7．23〉

死刑台のエレベーター

制　作：1957 年 仏　　上映時間：91 分
監　督：ルイ・マル
撮　影：アンリ・ドカエ
音　楽：マイルス・デイヴィス
出演者：モーリス・ロネ（ジュリアン・タベルニエ）ジャンヌ・モロー（フロランス・カララ）

【あらすじ】

1950 年代後半のパリ。武器商人の社長夫人フロランスと元将校で社員のジュリアンは不倫関係にある。

二人は邪魔になった社長の殺害を共謀、ジュリアンは首尾よく計画を実行するが、思わぬアクシデントに見舞われる。エレベーターに閉じ込められたうえに愛車を盗まれ、さらに車を盗んだ犯人が起こした殺人の罪まで着せられそうになる。

約束の時間になっても現れないジュリアンを探して夜のしじまを彷徨うフロランス。

当時の病んだフランス社会を背景に、鬼才ルイ・マルの斬新な演出が光る傑作。

【解　説】

■ポイント

・監督ルイ・マル 25 歳のデビュー作にして、ヌーヴェル・ヴァーグの話題作 1950 年代後半～60 年代のフランス映画を席巻した新しい波

主要作家：アレン・レネ、ジャン・リュック・ゴダール　フランソワ・トリュフォー他　日本映画界にも影響を与える（松竹ヌーヴェル・ヴァーグ）

■見どころ

・オープニング・シーンとエンディング・シーン
オープニング：ジャンヌ・モローの顔の超アップから始まる二人の電話シーン。　追いかけるトランペットの響き。インパクト充分の導入部。
エンディング：トランペットの音色とともに現像液から浮かび上がる証拠写真
・マイルス・デイヴィスのトランペット演奏
乾いたトランペットの音色がモノクロ映像と絶妙にシンクロする。特に夜の街を彷徨うモローの気持ちに寄り添う
・モーリス・ロネの演技とアンリ・ドカエの撮影
（二人とも前回上映「太陽がいっぱい」にも登場）
モーリス・ロネ：「太陽がいっぱい」ではドロンの輝きに食われていたが、本作では魅力を発揮
アンリ・ドカエ：前回はイタリアの明るさを撮り、本作ではフランスの奥深さを撮る。

平成 30 年度第９日回　鑑賞会

〈鑑賞日：2018．8．6〉

男はつらいよ 寅次郎夕焼け小焼け

制　作：1976 年 日本　　上映時間：109 分
監　督：山田洋次
脚　本：山田洋次、朝間義隆
音　楽：山本直純
撮　影：高羽哲夫
出演者：渥美清（車寅次郎）、倍賞千恵子（さくら）、笠智衆（御前様）
　　太地喜和子（芸者ぼたん）、岡田嘉子（志乃）、宇野重吉（池ノ内青観）

【あらすじ】

甥の満男の小学校入学祝いのため故郷葛飾・柴又に帰ってきた寅さん。飲み屋でみすぼらしい老人を助け、とらやに連れ帰るが、その老人が日本画家の大家、池ノ内青観であることが判る。

仕事で旅に出た寅さんは播州・龍野で偶然、池ノ内と再会。その後、龍野で意気投合した芸者のぼたんが、上京し柴又を訪ねてくる。聞くと、以前貸した金を取り戻すためだという。

単純に悪に立ち向かい、奮闘する寅さんの姿にシンパシーを感じる人も多いのでは。

今回は大物ゲストを迎えて、「笑って泣かせる人情喜劇」の決定版。

【解　説】

■男はつらいよ（寅さんシリーズ）

・シリーズ全 48 作（1969 年～1997 年 作品数としては世界最長の映画シリーズ
・豪華レギュラーキャスト（第 1 作）
渥美清（主人公・フーテンの寅）：この役はこの人しかいない、倍賞千恵子（主人公の妹・さくら）：松竹の看板女優 、森川信（おいちゃん）：喜劇界の重鎮、本作では下條正巳、笠智衆（御前様）：監督がリスペクトする小津映画の主役

■本作 寅次郎夕焼け小焼け

・概要：1976 年制作・シリーズ第 17 作 シリーズ中でも第 1 作（マドンナ：光本幸子）、第 15 作（相合い傘　マドンナ：浅丘ルリ子）と並び評価の高い作品
・ゲスト：太地喜和子（マドンナ）、宇野重吉、岡田嘉子
・ロケ地：兵庫県たつの市（2005 年合併により市名変更）
・見どころ：シナリオの良さ
主役、ゲストの個人芸の妙味が目立つシリーズであるが本作ではそれにも増して、シナリオが素晴らしい。

平成 30 年度第 10 回　鑑賞会

〈鑑賞日：2018．8．27〉

シャレード

制　作：1963 年 米国　　上映時間：113 分
監　督：スタンリー・ドーネン
脚　本：ピーター・ストーン
音　楽：ヘンリー・マンシーニ
出演者：ケーリー・グラント（ピーター・ジョシュア） オードリー・ヘップバーン（レジーナ・ランパート）　ウォルター・マッソー（ハミルトン・バーソロミュー）
ジェームズ・コバーン（テックス・ペンソロー）

【あらすじ】

スキー場で離婚を決意したレジーナはパリの自宅に戻るが、そこで夫の死を知らされる。葬儀に現れた得体の知れない 3 人の男とスキー場で知り合った心惹かれる紳士。

消えた 25 万ドル相当の財産と夫殺害の謎。誰が味方で誰が敵なのか判らない状況の中で、アメリカ大使館の男の助けを借りて真犯人を追及するレジーナ。

25 万ドルの行方と次々に起こる殺人事件。そして、最後にレジーナを待ち受けていた予想もされなかった結末とは。

鮮烈なデビューを果たした「ローマの休日」から 10 年。映画の魅力をすべて盛り込んだ傑作。

【解　説】

■オードリー・ヘップバーン出演映画のエッセンスが満載

- 年上大物俳優との共演：本作ではケーリー・グラント
- 衣装：ジバンシーデザインの華麗な衣装
- テーマ音楽：ヘンリー・マンシーニ
- 役柄：生活感のない未亡人
- ジャンル：ミステリー仕立てのラブ・コメディ
- シャレードとは、謎解き、ジェスチャーゲームの意味

■見どころ

- 主人公 2 人のオシャレな会話
  名優 2 人の軽妙洒脱な会話。（特に出合いとラスト） しゃれた会話は日本映画の苦手な部分
- ジバンシーの衣装
  オードリー＝ジバンシー（本作以外にも、「麗しのサブリナ」「ティファニーで朝食を」他。美人女優と大物デザイナーの典型的な組合せ）登場するシーンごとに替わるオードリーの衣装。
- ラストの予想外の展開

平成 30 年度第 11 回　鑑賞会

〈鑑賞日：2018．9．10〉

砂　の　器

制　作：　1974 年 日本　　上映時間：143 分
原　作：　松本清張
脚　本：　橋本忍・山田洋次
監　督：　野村芳太郎
音　楽：　芥川也寸志・菅野光亮
撮　影：　川又昂
出演者：　丹波哲郎（今西栄太郎）、森田健作（吉村弘）、加藤剛（和賀英良）
島田陽子（高木理恵子）、加藤嘉（本浦千代吉）、緒形拳（三木謙一）

【あらすじ】

昭和 46 年 6 月、国鉄の蒲田操車場内で起きた殺人事件。東北弁の「カメダ」という言葉を唯一の手掛かりにして必死の捜査を続ける警察。杳として知れない事件の行方。そこに突然現れた被害者の息子らしき人物。仏の化身のような男が何故無残に殺されてしまったのか。そこまで犯人を追い込んだものは。

その謎を追い求めて、東北、奥出雲、伊勢、石川、大阪、瀬戸内海の島を訪れる刑事の執念。ようやく追い詰めた犯人は今・・・。

原作者の松本清張をして「映画が原作を超えた」とまでいわしめた感動巨編。
日本映画の最高峰。

【解　説】

■最高のスタッフがこだわりぬいた作品

・原作：ベストセラー作家松本清張の代表作で本作以外にも度々ドラマ化
・脚本：巨人橋本忍と山田洋次による最高傑作
・音楽：音楽監督 芥川也寸志。「宿命」の作曲、ピアノ演奏 菅野光亮
・撮影：悲しいまでに美しい日本の四季の風景を追う川又昂のカメラ

■見どころ

・後半の 1 時間＝映像と音楽の見事な融合。主役 3 人の熱演
合同捜査会議シーン：丹波哲郎が主導
演奏シーン：加藤剛のピアノとオーケストラ演奏
旅の回想シーン：加藤嘉と子役の漂泊の旅
この３つのシーンを絶妙のタイミングでつなぎ合わせる。社会の偏見と差別により強いられた親子の漂泊の旅。極限の中で形成される異常なまでの親子愛。感動の極致。
※原作ではたったの 2 行を映画では大きく膨らませる。
・日本映画史に残る加藤嘉渾身の名演技
構想から完成まで 10 年以上要したため当初のキャストは大幅に変更となったが加藤嘉だけは当初企画通り。（名優緒形拳も本浦役を希望したが却下）

平成 30 年度第 12 回　鑑賞会

〈鑑賞日：2018．9．24〉

ベ ニ ス に 死 す

制　作：1971 年 伊・仏　　上映時間：131 分
原　作：トーマス・マン
監　督：ルキノ・ヴィスコンティ
音　楽：グスタフ・マーラー
出演者：ダーク・ボガード（グスタフ・アッシェンバッハ）　ビョルン・アンドレセン（タージオ）　シルヴァーナ・マンガーノ（タージオの母）

【あらすじ】

1911 年夏のベニス。病気療養のため当地を訪れた、老音楽家グスタフ・アッシェンバッハは宿泊したホテルで、美少年のタージオを見て一瞬にして心を奪われる。タージオは家族でベニスに来ていた。

ベニス滞在中、グスタフのタージオへの想いは募るばかりで、気がつくと目はタージオの姿を追っていた。ある日、街を消毒しているのを見たグスタフはその理由を尋ねると、コレラが蔓延する恐れがあるのですぐにでも街を出るように勧められる。タージオ一家もベニスを後にするらしいが、老いと体調が悪化しているグスタフはベニスに残ることを決意する。浜辺で夕日を浴びたタージオの美しいシルエットを見ながらグスタフは無残な死を迎えていた。

ベニスを舞台に、巨匠ルキノ・ヴィスコンティが描く独自の耽美な世界。

【解　説】

■トーマス・マンの同名小説（主人公のモデルは音楽家グスタフ・マーラー）をルキノ・ヴィスコンティが映像化
・トーマス・マン（1875 年～1955 年 ドイツ人の小説家） 主要作品：「トニオ・クレーゲル」「魔の山」　1929 年にノーベル文学賞を受賞
・グスタフ・マーラー（1860 年～1911 年 ユダヤ系オーストリア人の指揮者、作曲家） 交響曲に評価の高いものが多く、本作でも交響曲第 5 番がバックに使われている。
・ルキノ・ヴィスコンティ（1906 年～1976 年 イタリア人の映画監督） ミラノの貴族出身 ネオレアリズモの旗手
主要作品：「若者のすべて」「山猫」「地獄に堕ちた勇者ども」

■見どころ、聴きどころ
・主役ダーク・ボガードの演技
ヴィスコンティ映画の常連、本作でも性格俳優ぶりを発揮
・対比（老音楽家とタージオ） 老いと若さ、醜さと美しさ

平成 30 年度第 13 回　鑑賞会

〈鑑賞日：2018．10．1〉

影　武　者

制　作：　1980 年 日本（黒澤プロ・東宝映画提携作品）　　上映時間：179 分
監　督：　黒澤明
脚　本：　黒澤明、井手雅人
出演者：　仲代達矢、山崎 努、萩原健一、大滝秀治、梶大介、倍賞美津子
受　賞：　1980 年カンヌ映画祭 パルム・ドール受賞、毎日映画コンクール 日本映画大賞受賞

【あらすじ】

武田信玄（仲代達矢）の弟信廉（山崎努）は仕置場から死罪の盗人（仲代の二役）を拾い,信玄の影武者として仕立てる。天正元年、武田軍は徳川の野田城を包囲するが、城中からの笛の音を聞いていた信玄が狙撃され、深手を背負って死亡。

信玄は死ぬ前に「三年間は死を隠し、領国の備えを固めよ」との遺言を残した。

信玄の遺言を守るため信廉はかねて用意の影武者をたてる。粗暴で武術の心得もなかった影武者は信玄を葬る武将たちの姿に感動し、信玄の影武者として生きることを決意する。信廉の指導のもと、影武者は次第に威厳をつけはじめ、特に、世継ぎと定められた勝頼の子竹丸には「おじじ、おじじ」と慕われて、重臣と側近の者を除いては疑う者は誰もいない。

【解　説】

黒澤明はかねてから「戦国時代は日本の歴史の中で最も躍動的でエネルギーに満ちた時代で、戦国時代を題材として映画を作りたい」と考えていた。そこで「武田信玄には影武者がいた」という話を思い出し、『影武者』というアングルから戦国時代を観るという観点から井手雅人と共同で脚本を書いた。壮大な脚本は映画化には莫大な費用がかかるため、東宝は映画化をためらい、映画化は難航した。黒澤監督に心酔していたアメリカの映画監督のフランシス・コッポラとジョージ・ルーカスはこの企画に賛同し、20 世紀フォックス社に働きかけ、海外収益の一部を受け取るという条件で製作費の一部を出費させた。これで製作費の目処がついたので、映画化が実現した。

映画化に際し、黒澤は特定の役柄については、特定の俳優を配したがその他はオーデションで選ぶとし、公募の広告を新聞紙上に掲載した。公募に応じ、１万５千人が応募した。特定の俳優は仲代達矢（武田信玄、影武者）、大滝秀治（侍大将），倍賞美津子、桃井かおり（信玄の側室）など少数であり、他は有名、無名を問わずオーデションで選ばれている。萩原健一、山崎努、室田日出夫，根津甚八などすでに著名の俳優の他に俳優修業中の梶大介、全くの素人の油井昌由樹などが重要な役についた。準備期間が長かったこともあり、黒澤のイメージ通り撮影が進み、10 カ月あまりで完成した。一画面、一画面が色彩豊かな絵画となり、黒澤明の映像美は世界を驚嘆させた。『影武者』は直ちにカンヌ国際映画祭に送られ、その年のグランプリを受賞した。

平成 30 年度第 14 回　鑑賞会

〈鑑賞日：2018．10．22〉

サウンド・オブ・ミュージック

制　作：1965 年 米国　　上映時間：177 分
監　督：ロバート・ワイズ
音　楽：リチャード・ロジャース（作曲）、オスカー・ハマースタイン二世（作詞）
　　アーウィン・コスタル（編曲）
出演者：ジュリー・アンドリュース（マリア）、クリストファー・プラマー（大佐）、エリノア・
　　パーカー（エルザ）

【あらすじ】

1930 年代後半のオーストリア、ザルツブルグ。主人公は天真爛漫な修道女マリア。マリアは院長からオーストリア海軍の退役軍人であるトラップ大佐の子供たちの家庭教師になるよう命じられる。大佐は軍人らしい厳格な教育方針の持主で最初のうち二人は反目する。やがて子供たちに人気のあるマリアをみて大佐の考えも徐々に変わり、いつしか二人の間に愛が芽生える。マリアは大佐の婚約者の出現で修道院に戻るが院長に諭され、再度一家のもとに赴く。そこで思いがけない大佐からのプロポーズ。新しい一家を築きファミリーは音楽祭に出場、見事優勝する。第三帝国との併合に反対する大佐はドイツからの出頭命令を退け国外脱出を決意する。

雄大なアルプスの風景をバックに、万人に愛される完成度の高いミュージカル映画。
あっという間の３時間。

【解　説】

■当時のオーストリア

1930 年代後半のオーストリアはナチス・ドイツとの併合前夜

この作品はオーストリア＝ナチス犠牲者論に立脚したもの

■ブロードウェイの大ヒットミュージカルの映画化

原作：「トラップ・ファミリー合唱団物語」（1949 年・マリア・フォン・トラップ著）
映画「菩提樹」：西ドイツで映画化（1956 年）

ミュージカル：ブロードウェイミュージカル（1959 年）
映画化：本作（1965 年

■見どころ・聴きどころ

映画の中で使われる名曲（スタンダードナンバーとなった曲がずらり）10 曲を登場順にピックアップ

・サウンド・オブ・ミュージック（マリア）
・マリア（修道女達）
・もうすぐ 17 歳（リーズルとロルフ）
・私のお気に入り（マリア）
・ドレミの歌（マリアと子供達）
・ひとりぼっちの山羊飼い（マリアと子供達）
・エーデルワイス（大佐とマリアと子供達）
・さよなら、ごきげんよう（子供達）
・すべての山に登れ（修道院長）
・ 何かよいこと（マリアと大佐）

「浮雲俳句会」

抄録　No.43

代表　　北野　清市

121 回例会　平成 30 年 7 月 29 日

＜秀作 ＞

天賞

洛中の長刀鉾の辻回し　　二　祥

日本の祭りの代表格である祇園祭の一齣がよく描かれた秀作。祇園祭は５月の葵祭、秋の時代祭と並ぶ京都の三大祭である。このうち＜長刀鉾（なぎなたぼこ）＞は、稚児が出る７月５日の長刀鉾稚児祭だ。それだけユニークな祭として長い間親しまれてきた。殊に＜長刀鉾の辻回し＞が格別で、長い柄の先に幅が広く長く反り返った鉾を連ねた山車（だし）を方向転換させる＜辻回し＞が圧巻である。

地賞

弾かれないピアノに届く祭笛　　十　九

ピアノでは表現不可能な祭笛の音色の不可解さに迫る秀逸。指に怪我して弾けないピアノ。それでもピアノの前に座っていると、＜祭笛＞が聞こえて来るのだ。しかし、ピアノは鍵盤楽器、笛は管楽器である。殊に音色（ねいろ）が全く違い笛は独特の音を出すのである。そのピアノに無情にも＜祭笛＞がピーシャラ・ピーシャラと聞こえて来るのである。

人賞

鉾の粽吊るす町家に祈りあり　　和　女

祇園祭の商家の様子を具体的に描写した秀吟。祇園祭に京都の商家はどうしているのだろうか？それは祇園祭の原点にたち返えるものだ。古来疫病が流行し、これを除去する御霊・怨霊の祭りが発展したものではなかろうか。その後、練り物も出て段々豪華になり、祭りは神事から見世物に替わっていったのではないか。この点、京都の商家は＜鉾の粽＞をそれぞれの家先や軒下に吊るして、無病息災、商業繁栄を祈り続けているのだろう。

特選

谷崎忌着流しくぐる蕎麦暖簾　　三　旦

昨年もこの時期は猛暑でした。年中行事の高校同窓会も同じ趣向だと飽きが来ますので、この年の納涼会は東京の蕎麦の名店でとなり、１０人程度なので更にこだわりを入れ、和服で集合との話になった。

甚平に雪駄履きとういう人が多かった気がしますが、私は浴衣で出かけた。これはまさに池波正太郎か藤沢周平の世界で、その話で盛り上がった。しかし冷酒を飲んでいるうちに、この日は谷崎忌だったことに気づいた。谷崎の生まれは東京だったと思います。
彼も若いころはこんな酒の飲み方もしていたのかなと、ふと感じた次第。

左千夫忌に矢切の渡し訪ねけり　　一　幸

左千夫忌の左千夫は、千葉県生まれの歌人・小説家伊藤左千夫のことであり、小説「野菊の墓」の作者である。
その小説を読まれた方、映画化も何度かされて映画を見られた方等、たくさんいらっしゃると思います。そして小説「野菊の墓」の舞台は矢切の渡し付近であると言われている。現在では寅さん映画での江戸川の「矢切の渡し」の方が有名であるが、小説では年上の女性との清純な淡い恋は実らず・・・・の舞台でもあったのです。その伊藤左千夫の忌日７月３０日が左千夫忌として季語(夏・宗教)になっています。以前、柴又帝釈天に出かけた時を思い出しての句です。

偕老やけんかの果ての夏の月　　重　九

中国最古の詩集である『詩経』に「偕老同穴」に関する篇がある。夫婦仲良く、生きては共に年をとり、死んでは同じ墓穴に一緒に葬られる意で、夫婦が仲睦まじく連れ添うこと、偕老も同義である。そんな夫婦と思っていても、齢をとるとお互いに頑固になり、些細なことで喧嘩をしてしまい、詫びることなく庭に出て夏の月を眺めて、ちょっと言い過ぎたかなと反省している自分がある。

新妻の日傘差したる手のまぶし　　春　駒

夫だけでなく友人知人、ご近所や職場の仲間からもこのように見られている女性の美しさ,愛おしさ、瑞々しさ、艶やかさなどを表現したいと思いました。仕事と家事に追われて女性らしさなどの意識も薄れ,雑多に追われた日々の中、妻としても母とし てもベテランの域に入り、初々しさなどかけらもなくなっていた自分を振り返り、反省と願望から生まれた一句です。
心の美しい人は男性女性に関わらず表情や行動に現れます。さて、私が心に余裕をもてるようになるのはいつになるのやら…。せめて日傘は忘れないようにしないとと思いました。

夜もしらみ富士山頂のご来光　　勝　美

日本一高い山、富士山（3776m）でのご来光は経験した者のみが知る素晴らしい感動シーンでした。夜も徐々にしらじらとなってくる頃に最後の登りを終えて富士山頂へ立ちました。東の空に太陽がゆっくりと上がってきました。これ以上にない荘厳さです。思わず歓喜の声が迸し出る。周りからも一斉に拍手がおこりました。頑張って登ってきただけに感動、感激は一入のものでありました。苦しかったが最後まで頑張って良かった。本当に良かったとの思いが胸を突き上げる瞬間でした。

あめんぼう変調自在の譜面かな　　勇　平

あめんぼう（水馬）は小川や池などで長い足を張って、すいすいと滑走したり、水面を跳ねたりする。しかし、与えられた譜面は無視。どの音をキーとするか基準音も無視。転調、移調を気の向くままに操っている。そんな水馬を見ていると飽きがこない。

122 回例会　平成 30 年 8 月 26 日

＜秀作 ＞

天賞

流星の天にこぼるる草枕　　和　女

大自然の大きなスケールの現象を見事にキャッチした秀吟。＜草枕＞は草で結んだ枕。これで旅にでて野宿するのである。＜草枕＞を頭にして天空にまたたく沢山の星を見上げているとき、＜流星＞が突然袈裟懸けに流れ去ったのである。一瞬、天空を引き裂く＜流星＞を見事に捉へている。

地賞

絵灯篭巫女ら火入れし八幡宮　　あきえ

氏神様の普段の諸準備の様子を具体的に表記した秀作。地元富岡八幡宮には、参道の両サイドに、＜絵灯篭＞がある。これに夕方、巫女たちが火を入れて準備をするのである。かくれたところに巫女たちの気配りが伝わってくるのである。

人賞

願いごと言い終えぬ間に星流る　　春　駒

流れ星の一瞬の速さを簡潔に表現した佳句。流星は、われわれの太陽系内を運行している小天体が、地球の大気中に突入して大気との摩擦で燃焼し、空気中のイオンが光って見えるものである。速度が速く、＜願いごと＞を＜言い終えぬ間に＞流れ去ってしまうのである。

特選

縄文の光そのまま星の河　　十　九

この地球上に生命体が存在しない遙かの時代から、銀河は夜空に流れ煌めいていたのであろう。しかし、今この水の星に生きる我らがその星の河に浪漫を抱くのは、この國に倭人が集落を作り、竪穴式住居に住んであの驚くべき精巧な土器の遺産を造っていたその縄文時代に、思いを寄せる時なのではあるまいか。一万数千年もの遠い昔の光そのままに流れる銀河を、縄文の時代の人々と同じように眺めては夢を抱く、それこそが正しく詩情なのであろう。

シャガールの羊にのって星月夜　　三　洋

マルク シャガールの絵のモチーフは天空に遊ぶ恋人や羊や馬や牛をロマンチックに描いたものが多い。美しい星の夜、シャガールの描いた羊にのってそれらの星々を訪ねてみたい。

コンサート余韻仄かに星月夜　　祥　代

久しぶりにコンサートに出かけました。すばらしさに感動した音色がまだ耳に残っているときに会場を出てみればまたまた素晴らしい星月夜に出会えました。というダブルの素晴らしさに感動して詠んだ句です。

輪唱の指揮棒振りし法師蝉　　國　眼

今年は秋になっても例年に比して、目覚めると蝉の鳴き声に包まれていました。なかでもコンダクター（指揮者）は、つくつくぼうし。「おおしいつくつく」と聞こえます。筑紫恋しの情でしょうか。別名は法師蝉。一寸法師、影法師の連想から、ただならぬ気配も感じさせます。一瞬の休止符を入れ、輪唱へと誘います。わびあり、さびあり、自由自在です。誰の為に鳴き尽くしているのでしょうか。誰の為の音楽会なのでしょうか。

並べらるやさし瞳の初さんま　　勇　平

秋を代表する魚さんまは、大衆魚として食膳を賑わしてきたが、近年不魚が続いているためなかなかお目に掛かれない。やっと登場して来たさんまはケースにおさまり、スーパーの鮮魚コーナーに並べられる。スリムな体形は美しく、目は濁りなく清く澄んで優し気である。

赤とんぼみちのくの旅あないせり　　勝　美

陸奥の秋はどんな所だろうと思いました。きっと田畑の中は無数のとんぼが飛びかい道案内をしている様を句にしてみました。旅に出てみたくなりました。

123 回例会　平成 30 年 9 月 30 日

天賞

営みの火は刹那なり大銀河　　和　女

数億の恒星の営みを彷彿とさせる秀吟。＜銀河＞は、帯状に見える数億の恒星の集団。われわれが住む太陽系もその一つ。天の川、銀漢などとも言う。肉眼で見える殆んどの天体が含まれ、直径何と 10 万５千光年にも及ぶ。＜銀河＞を構成する数億の恒星の多くは、絶えず、ガスとともに火の玉となって生成発達を遂げている。まさに＜営みの火は＞＜刹那＞である。この限りない営みが＜大銀河＞となっているのだ。

地賞

阿字が池覗き見をする新松子　　一　馬

大寺院・称名寺の格式の漂う秀作。松は日本人の好む樹木。＜新松子（しんちぢり）＞はその実であるので、よくみられ、殊に青い松ぼっくりは、実がみずみずしく愛らしい。その＜新松子＞が、称名寺の＜阿字が池＞を＜覗き見＞しているのだ。どうだ眺めは!!

人賞

あさまだき夜行列車の銀河濃し　　勝　美

無数の星が密集して帯状のように夜空に連なっている。一年中見られるが、春は低く地平線に沿い、冬は高いが光りが弱い。夏から秋にかけてが絶好期でおきあがり、殊に仲秋には北から南に伸び夜が更

けると西の方へ向かう。銀の砂のように美しく、川となって連綿と輝く。都会では空がどんよりしてはっきり見えないが、地方を走る列車は格別。わけても暗い大草原などの夜行列車からは、はっきりとく銀河が濃し＞の眺望が堪能できる。感動した夜行列車。感激!!

特選

宵闇に響きし汽笛「銀河」果つ　　春　駒

2018 年３月 14 日に廃止となった「銀河」の思い出は高校２年生の修学旅行です。大阪から東京までこの寝台特急を利用しました。観光はおぼろげですがこの銀河に乗ったことは鮮明におぼえています。車内にベッドがあること、線路と平行に景色を臨めること、通路が端にあること等々。田舎育ちで女子高でしたから、恋話しで花を咲かせるようなときめきはなく見るものすべてが刺激的でした。JR 西日本では、銀河を廃止した理由について「新幹線や航空機が整備されたこと、また安く泊まれる宿泊設備が増えたことにより、宿泊設備を持つ列車の競争力が下がったから」と説明しています。もう一度利用してみたいと思っている間に廃止となり、時代は移っていきました。ラストランは汽笛がむなしく夜空に響き、青春の１頁を思い出しました。

億光年先の銀河へ宅配す　　勇　平

３億光年先の銀河をＮＡＳＡがとらえたとか。地球から観測できる銀河の数は兆を超えるという。正に驚異というほかはない。宇宙は限りのない広さ。気が遠くなる。説明不能。そんな世界へ、なんと宅配便を飛ばすという荒唐無稽な句では俳諧味を感じることは出来ない。

鏑矢が銀杏紅葉を射抜きけり　　三　旦

的場における弓の鍛錬の風景とお考えかも知れませんが、実際は流鏑馬を詠んだものです。場所は鶴岡八幡宮、そして季節は例大祭の９月 15 日。銀杏と流鏑馬では出来すぎで、かつ作為的・陳腐であるという感想も出るでしょう。でもこの通りだったのです。

酔芙蓉朝昼夕と色直し　　重　九

「酔芙蓉」はアオイ科フヨウ属の落葉低木の「芙蓉」と同属で、近縁に「木槿」がある。芙蓉の花はピンクと白で、朝咲いて夕方に萎む一日花で、毎日次々と開花する。酔芙蓉は朝咲き始めた花弁は純白で、午後には淡い紅色、夕方には濃い紅色に変色する八重咲の変種で、色が変わるさまを酔って赤くなることに例えたものである。このように「酔芙蓉」が朝昼夕と色を変えるのは、結婚式後の披露宴で新婦が「お色直し」と言って式服を別の衣装に何度も着替えるのと似てあでやかである。

天高し筆跡を追ふ書道展　　一　椛

義妹が主宰する書道結社の展覧会に招かれ「上野の森美術館」へ出向いた。芸術の秋に相応しい清々しい日和ということもあって、観賞者も多数詰めかけ盛況であった。会場には 80 点ちかい作品が展示されいた。その中には外国の方の作品もあり、興味深く一点ずつ丁寧に作品の筆跡を追いながら書の素晴らしさに暫し浸った。

パソコン何でも相談室【17】　林　洋

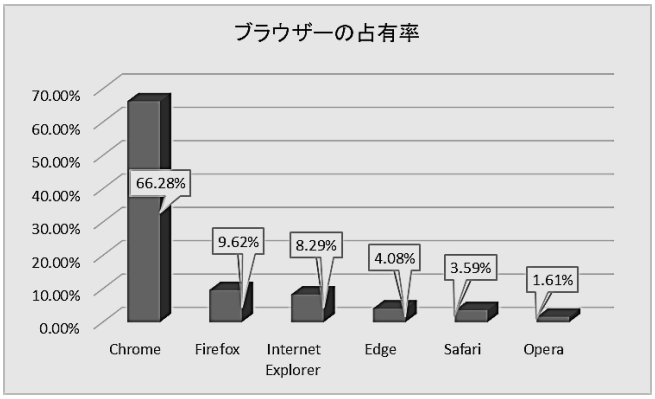
ブラウザとは、パソコンやスマートフォンでインターネットに接続し、ニュースやブログ記事、クラウドサービス等のウェブページを閲覧するときに使うアプリケーションのことです。「あちこち拾い読みする、立ち読みする」というのが語源です。

1. ブラウザの種類

主なブラウザには、次のようなものがあります。

- Google Chrome
- Fire Fox
- Internet Explorer
- Microsoft Edge
- Safari
- Opera

2018 年 9 月現在の世界中での占有率は次の通りです。



これらのブラウザは、すべて無償で提供されており、各社のサイトからダウンロードして使う事ができます。

① Google Chrome

Chrome（クローム）は Google が提供しているブラウザで、2013 年以降からトップシェアを保っています。Chrome はさまざまな端末（デバイス）に対応しており、現在主流のスマートフォン、タブレット、パソコンをほとんどカバーしています。

同じ Google アカウントでログインしている Chrome 間でブックマークや ID／パスワード、閲覧履歴、各種設定、開いているタブ等を同期・共有できます。いったん同期の設定をすると、ある端末で行った追加・変更・削除した内容がインターネットと Google アカウントを介して、他の端末へ反映されます。

Google の提供する他の Web サービスとの相性が良いのがメリットで、パソコン版 Chrome には、「拡張機能」という機能を追加、増強するための仕組みがあります。

② Internet Explorer

Internet Explorer （インターネットエクスプローラ）は、Windows8.1 以前のパソコンに標準で搭載されていたブラウザです。IE（アイ・イー）の略称で呼ばれ、標準であったことから利用する人も多かったのですが、機能面では Chrome に劣ることが多いブラウザです。

Windows 10 から Microsoft Edge という後継ブラウザに置き換わり、マイナーになりつつあります。シェア率が下がると、Web ページ制作側もそのブラウザに対応しなくても良いと判断され、うまく表示されなくなることもあります。まだ使用している方は、そろそろ乗り換えのときかもしれません。

③ Firefox

Firefox（ファイアーフォックス）は米国カルフォルニア州の非営利団体である Mozilla Foundation が開発したブラウザです。

シンプルなデザインでメニューボタン、アドレスバー、検索ボックス等の必要な機能を備えています。

複数のパソコン又は Android 搭載のスマートフォンの間でブックマーク、パスワード、閲覧履歴等を同期します。

④ Microsoft Edge

Microsoft Edge（エッジ）は、これまでの Internet Explorer（IE）に代わって Windows 10 から標準で搭載されるようになったブラウザです。

IE で使用していた古い技術を捨て、Microsoft の提供するサービス（OneNote（ワン・ノート）等）とより親和性が高くなりました。デザインが非常にシンプルになりましたが、発表時にはシンプルすぎて分かりにくいという声もありました。Microsoft がシェア率回復のために作った新ブラウザなので、

今後のアップデートが期待されます。

Edge では Flash と pdf については、Adobe 社から提供された機能が組み込まれているので、Flash Player や Acrobat Reader といったプラグインを追加することなく動画や Pdf ファイルを表示することができます。

新しい機能として、Web ページに手書きができる「Web ノート」が実装されています。Web ノートは、Web ページに手書きメモを書き込むことができる機能です。たとえば、製品カタログの Web ページで目当ての製品を赤丸で囲む、ニュースサイトの重要な部分にマーカーを引く等ができます。また、手書きで強調した部分に、関連情報や補足等をテキストのメモとして書き込むこともできます。このメモを、OneNote 等に保存し、情報を共有することができるようになっています。

⑤ Safari

Safari （サファリ）は、Apple 社が提供するブラウザで、Mackintosh（マッキントッシュ）の標準ブラウザです。iPhone、iPad には、調整された Safari が標準ブラウザとして搭載されています。

Apple が提供するサービスとの相性が抜群であり、画面表示がきれいで、文字が読みやすい特徴があります。

ただ、Mac OS 用に作られたブラウザなので、Windows で利用すると挙動が不安定になる場合があります。

⑥ Opera

Opera（オペラ）は、ノルウェーの Opera Software 社が開発したブラウザです。

Opera は、現在の各ブラウザが採用しているタブブラウザ方式を採用した草分け的存在です。当初からファイルサイズが小さく動作が軽快であるとの定評を得ていました。

また Opera は対応するプラットフォームの多さも特徴で、Windows をはじめとして Mac OS や Linux、Solaris、あるいはモバイル機器に対応した「Opera Mobile」等も提供しています。

2. 複数のブラウザを使う

皆さんはインターネット検索をするときどんなブラウザを使っていますか？

私のパソコンでは、Edge、Internet Explore、Google Chrome、Firefox が使えるようにしています。各々のブラウザには「ブラウザの種類」で説明した特徴があり、その特徴に合わせた使い分けをしています。

それ以外に、インターネットにつながらない、動画がスムーズに再生されない、動作が重いという時に、他のブラウザに切り替えて使用することがあります。

3. ショートカット・キー

ブラウザの操作でショートカット・キーを使うとより素早い操作が可能となります。

① Ctrl キー＋“L”キー

現在のブラウザは、アドレスバーにキーワードを入力して検索することができます。ブラウザを立ち上げておいて Ctrl キーを押しながら L キーを押すとアドレスバーにカーソルが飛んで行ってそのまま入力することができます。

② Ctrl キー＋“＋”キー/“－”キー/“0”キー

Ctrl キーを押しながら“＋”キーを押すと画面サイズを拡大します。画面全体を拡大するので見やすくなります。

逆に、縮小する場合には、Ctrl キーを押しながら“－”キーを押します。

元の 100%の表示にするには、Ctrl キーを押しながら“0”キー（数字）を押します。

③ Ctrl キー＋“P”キー

Ctrl キーを押しながら“P”キーを押すと印刷画面が出ます。マウスでメニューから辿らなくてもすぐに印刷画面が出ます。ブラウザだけでなく、Windows の多くのアプリケーションで使うことができます。

④ Ctrl キー＋“F”キー

Ctrl キーを押しながら“F”キーを押すと、ブラウザに検索用の画面が出てきます。現在開いている Web ページ内のどこに知りたいキーワード、探しているキーワードがあるのか検索することができます。このキーも Windows の他のアプリケーションで使うことができます。

歴史研究

江戸時代の五街道を歩く(4)

古文書を読む会　　代表　真田 雅行

東海道五十三次紀行

(3／3)

○━━○：今回対象範囲

さて境橋を渡ればいよいよ尾張の国、目指すは「桶狭間古戦場跡」だ。

永禄３年（1560)、織田信長が上京途中の今川義元軍を急襲し、首を討ち取ったところ。公園内には義元の墓があり、隣接した高台の「高徳院」に本陣跡がある。

不思議なことに実はもう一ヶ所古戦場跡「田楽坪」があって、ここにも義元の墓がある。いずれが正しいか決着がついていないようだ。両者はかなり離れているが、今川軍は大軍だったから、辺り一帯で戦闘が繰り広げられたのであろうか。いずれにせよこの辺りが今川・織田両勢力の接触地点だったと納得して、もう一つの桶狭間激戦地「鳴海城址」、名産品・木綿の鳴海絞りの「鳴海宿」を越えれば、もう熱田神宮の「宮宿」はすぐ近くである。（日本橋から89里、349㎞）

宮宿(熱田神宮)　七里の渡し場にたつ常夜燈と鐘楼

宮宿～桑名宿間の船着き場「七里の渡し場」を探すのに一苦労するほど、この辺りは埋め立てられたり、道が遮断されたりしてすっかり変貌してしまい、桟橋に立つ常夜灯や鐘楼以外に往時を偲ぶものはない。

江戸時代の東海道は、ここから船で３～４時間、海路７里（28㎞）で、桑名へ通じていたが、遠浅で風が強く、旅人の苦労が絶えなかったようだ。

広重の絵を見ると、船は一枚帆の和船で４～50人乗り、大きさは100～300石でほとんど帆走、漕ぐことはなかったという。

海路をきらう旅人は、陸路の「佐屋街道」を利用したといわれるが、最後の３里は舟旅だったようで、木曽川左岸の佐屋から川舟で桑名へ下った。

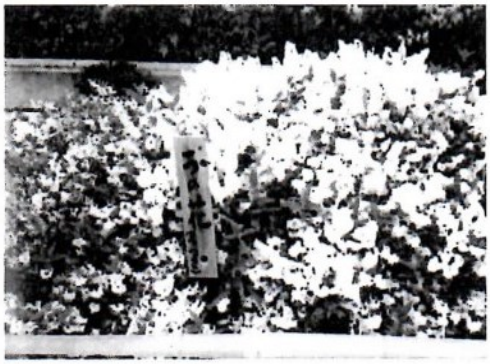
現在の東海道線や名神高速道路は、名古屋～岐阜～米原～琵琶湖東岸を通るが、旧東海道は伊勢の桑名～亀山～関～鈴鹿峠を通り、草津で中山道と合流していた。

対岸の「桑名宿」は日本橋から374㎞、ここでも「七里の渡し場」跡を見つけるのに１時間も費やしたが、ここが伊勢神宮参拝への入口だったことを示す伊勢国一の鳥居も、幕末京都守護に重要な役割を担った桑名藩の「桑名城址」も何か寂しそうに佇んで見えた。

そういえば会津藩主・松平容保（かたもり）と桑名藩主・松平定敬（さだあき）は実の兄弟で、美濃高須藩の出であった。

壬申の乱に際し、大海人皇子（おおあまのおうじ）（後の天武天皇）は、岐阜・関ケ原の野上（のがみ）で陣頭指揮をとるが、吉野を出て東国の豪族を味方に付けつつ、途中ここ桑名に宿泊したことが日本書紀に見える。その跡が「天武天皇社」だという。

それはともかく、桑名では総鎮守社「春日神社」の青銅の大鳥居前を通り、名物のハマグリ懐石を賞味して、今や重工業地帯と化した「四日市宿」を抜け、伊勢道と東海道の分岐「日永(ひなが)の追分」を右に辿ればやがて「石薬師宿」で、ここには奈良時代創建の古拙「石薬師寺」が目立つ程度だが、歌人「佐佐木信綱」の生誕地であり、生家の隣が資料館になっている。



石薬師宿
佐佐木信綱資料館の玄関前に咲く「うの花」(うつぎ)

卯の花の匂う垣根にホトトギス　早も来鳴きてしのびねもらす夏は来ぬ……

石薬師の一里塚跡から寄り道して「日本武尊」(やまと たけるのみこと)の「加佐登神社」に参拝した。次いで「能褒野神社」(のぼのじんじゃ)に至る。
彼は東征の帰途この地で没し、魂は白鳥となって大和へ飛び立ったという。樹木が鬱蒼と茂り自然と敬虔な気持になるところだ。
彼はここで大和を偲び下記の有名な辞世の句を残した。

倭(やまと)は国のまほろば たたなづく 青垣山ごもれる 倭しうるわし (古事記)

「庄野宿」から、私藩の領内に幕府の道中奉行直轄の宿場が置かれるという珍しい「亀山宿」の次は、東海道中で、江戸時代の面影を最もよく残す47番目の「関宿」である。
東追分～西追分の1.8㎞の町並みは、昔ながらの家並が続き、電柱は一本もなく、銀行も郵便局も町並みに合った意匠にするなど、宿に入った途端江戸時代にタイムスリップしたと錯覚を起すくらいで、「伝統的建造物保存地区」に指定され、宿全体が宿場博物館のようである。

関宿の町並み
中山道「奈良井宿」と同じく「伝統的建造物保存地区」に指定されている。

東海道はこの辺りから鈴鹿峠の登りに掛り、筆捨山を右に見て「坂下宿」のはずれの「片山神社」境内を右折すれば、いよいよ急勾配でつづら折りの「鈴鹿峠」である。
山賊が旅人の姿を岩に写して襲ったという鏡岩、坂上田村麻呂神社旧跡や、馬の水飲み場跡などを見ると、距離はそんなにない割りには旅人や馬などを悩ました難所だったことが容易に想像出来る。

坂下宿の鈴鹿峠への道
東海道五十三次の各宿場名が記されている。

峠の頂上で4.5mもある粗削りで頭でっかちの「万人講常夜灯」前で休み、ゆるやかに続く路を下れば、神々しい「田村神社」を経て「土山宿」に至る。

鈴鹿峠の風変わりな万人講常夜燈

「坂上田村麻呂」は、平安時代初期に征夷大将軍として専ら奥州方面に遠征し、鈴鹿峠の鬼退治や東北地方にさまざまな伝説を残した人物だ。

土山は、天皇の代替わりのたびに、名代として伊勢に遣わされた独身皇族の斎王が、京都から伊勢へ向かう途中休憩したところ、西はずれに「垂水斎宮頓宮跡」が残っている。

東海道はこの辺りから野洲川沿いに続き、やがて宿の入口が三筋に分かれる「水口宿」に通じている。ここも亀山宿と同様に宿場が道中奉行の支配下に置かれた城下町だが、小堀遠洲作の碧水城といわれた「水口城」は、枡形の模擬櫓を持つ美しい城である。

「野洲の渡し」の大常夜灯を過ぎた辺りから、洪水などで東海道は途切れているため、何回も路に迷いながら、川が路の上を流れる「天井川」の下を二つのトンネルでくぐり、「石部宿」を抜け、江戸時代の胃腸薬で家康も飲んで治ったという「旧和中散本舗」を過ぎれば、もう「草津宿」は近い。

「草津宿」は東海道と中山道が合流する追分（交差点）で、東海道名所図絵などにその賑わいぶりが描かれ、「草津追分道標」がある付近が中心地、すぐ近くの田中家の「草津本陣」が国史跡に指定されて、当時の実態をそのまま伝えている。

皇女和宮は、桜田門外での井伊直弼暗殺後の公武合体実現のため、14代将軍・家茂に嫁ぐため、途中この本陣で休息し、一説では50kmにもおよぶ大行列で中山道を江戸に向かった。

次の「大津宿」は、後の天武天皇の壬申の乱を始め、源平合戦、応仁の乱など幾度も戦乱の場となった「瀬田の唐橋」を渡ればすぐである。

大津宿　昔からの交通の要・瀬田の唐橋

寄り道して、紫式部が『源氏物語』の一部を書いたという「石山寺」に詣でると、執筆中の彼女の姿像があった。

東海道に戻り、市中を進めば、やがて木曽義仲、巴御前と芭蕉が共に眠る「義仲寺」である。

芭蕉は、元禄７年（1694）大坂で亡くなったが、墓は遺言により義仲の隣に建てられたため、狭い境内には夥しい句碑がある。

行く春を近江の人とおしみける
古池やかわず飛び込む水の音
木曽殿と背中あわせの寒さかな　　又玄作

大津宿　義仲寺の芭蕉の墓
（隣に木曽義仲の墓がある）

やがて大津事件の「此附近露国皇太子遭難の地」碑に出くわす。

明治24年（1891）ロシア皇太子ニコライ二世（のちのロマノフ王朝最後の皇帝ニコライ二世）が、警備の警官に襲われ、頭に怪我をした現場である。

事態を恐れた明治政府は犯人極刑を主張したが、無期懲役にして司法権の独立を守った大審院（最高裁）判決で注目された。

このニコライ二世一家がロシア革命で殺害され、遺骨が本人のものかどうか、ごく最近米ロ調査団により本物とされた決定的証拠が、この大津事件で怪我をした時に衣服に付いた血痕のDNA鑑定であったと最近の新聞で知った。

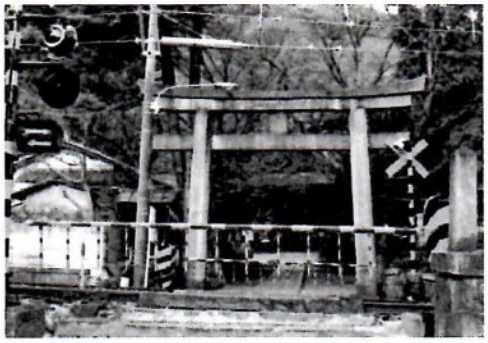
大津宿
ロシア皇太子ニコライ遭難の地

さてここで大きく寄り道をした。

同じ天台宗でありながら、今もって比叡山の山門派と対立している円珍の寺門派「園城寺（おんじょうじ）」（三井寺ともいう）や、天智天皇時代５年間「大津京」があった錦織（にしごうり）、全国３千社に及ぶ山王社の総本宮「日吉大社」、伝教大師最澄の生誕地「正源寺」などを訪ねた後、東海道に戻って大津を抜けて上り坂を行くと、分社・上社・下社の由緒ありげな三つの「蝉丸神社」があり、逢坂の関を越えればもう山科である。

逢坂関跡

大昔から鈴鹿関、不破関と並び、日本三大関所といわれた「逢坂の関」は、東海道と東山道（今日の中山道とほぼ同じ）が一緒になって京都に入る重要拠点であったが、今は国道１号となって車の往来が激しく、わずかに路脇に常夜灯と石碑が残るのみである。



蝉丸神社下社（鳥居の前は京阪電車線路）

蝉丸の和歌

これやこの行くも帰るも別れては知るも知らぬも逢坂の関

山科では、律令制度を完成し、且つ日本書紀編纂の実質責任者・藤原不比等（ふひと）が育った「中臣神社」もいいが、やはり「天智天皇陵」であろう。

歴代の天皇の中で、唯一山科に陵がある理由をめぐり説が対立している。

通説は日本書紀のとおり大津京で亡くなり、山を越えたこの山科に葬られたとするが、宇治（当時は山科だった）で狩に出かけて行方不明となり、沓だけが残っていた場所に陵が造られたとする「扶桑略記」に基く有力説が最近出されている。

因みに500mもの長い参道を通り、陵の前まで来ると、横に沓石がある。

琵琶湖疎水、蹴上（けあげ）、更に京都に入る七口の一つ「粟田口」を過ぎ、平安神宮の朱塗りの大鳥居を右に見ながら、三条通りを真っすぐ西に進めば終点の「三条大橋」、左手に高山彦九郎が御所を遥拝する銅像を見やりながら大橋を渡り終えると、橋のたもとの弥次さんと喜多さんの銅像が“よくここまで来たねえ”とねぎらってくれているようだった。

三条大橋たもと　弥次さん喜多さんの像

江戸から126里（約500㎞）、当時の旅人は通常10～13日でこの東海道五十三次の旅を終えたという。

行 事 予 定

2018年12月～2019年2月の予定　　注：表中の「 CC 」は、「 地区センター 」の略

	12月	1月	2月
学習会	予定なし	予定なし	2月9日（土）能見台CC 9：30～12：00 ・金沢地先の海岸と長浜検疫所・横浜港 ・野口英世細菌検査室 保存会 会長　田中 常義 氏
寺社を巡る会	12月6日（木）10：00 集　合：江ノ電 極楽寺 テーマ：紅葉の海・極楽寺から長谷へ 訪問先：極楽寺、熊野新宮、成就院御霊神社、鎌倉能舞台他	1月11日（金）10：00 集　合：京急 新逗子駅北口 テーマ：新春の逗子から葉山を巡る 訪問先：亀岡八幡宮,延命寺,宗泰寺,六代御前墓,森戸神社他	2月7日（木） 集　合：時間・場所未定 テーマ：座学 DVD鑑賞（百寺巡礼）
古文書を読む会	12月13日（木）10:00～ 区民活動センター テーマ：野島浦鈴木家文書 12月27日（木）10；00～ 区民活動センター テーマ：艱難實録（函館戦争）	1月10日（木）10；00～ 区民活動センター テーマ：野島浦鈴木家文書 1月24日（木）10；00～ 場所未定 テーマ：艱難實録（函館戦争）	2月14日（木）10：00～ 場所未定 テーマ：野島浦鈴木家文書 2月28日（木）10：00～ 場所未定 テーマ：艱難實録（函館戦争）
ふれあいの道歩こう会	12月10日(木)予備日11日(金) 独自コース65番＝通算146回 小網代の森 神奈川県 三浦市	1月17日(木)予備日18日(金) 独自コース66番＝通算147回 千葉の隠れた名峰　高后山 千葉県 君津市	2月21日(木)予備日22日(金) 独自コース67番＝通算148回 大谷資料館と大谷観音、多気山不動 栃木県 宇都宮市
懐かしの映画を観る会	12月10日(月)　金沢CC 12：15～　ベニー・グッドマン物語 12月24日(月)　金沢CC 12：15～　ベン・ハー	1月14日(月)　金沢CC 12：15～　乱 1月28日(月)　金沢CC 12：15～　大脱走	2月11日(月)　金沢CC 12：15～　愛情物語 2月25日(月)　金沢CC 12:15～　ニューシネマ・パラダイス
浮　雲俳句会	12月23日（日）　9：30～ 能見台CC　第125月回例会 テーマ：星座	1月27日（日）9：30～ 能見台CC　第126回例会 テーマ：寒昴	2月24日（日）　9：30～ 能見台CC　第127回例会 テーマ：月
パソコンを使いこなす会	12月11日(火) 金沢CC WORD実用講座 ― テンプレート― 12月18日(火) 金沢CC 画像処理実用講座 ― Picasaでコラージュ作成―	1月8日(火) 金沢CC 画像処理実用講座 ―Picasaでコラージュ作成― 1月15日(火) 金沢CC Windows実用講座 ― 音楽の編集 ―	2月19日(火) 金沢CC Windows実用講座 ―即効テクニック― 2月26日(火) 金沢CC Internet実用講座 ― Wi-Fi ―
	9：30～12：00	9：30～12：00	9：30～12：00

連絡先

- 学習会 090-6176-4543(内田)　・古文書を読む会 784-4900(真田)　・浮雲俳句会 774-3878(北野)
- ふれあいの道歩こう会 787-3250(江口)　・懐かしの映画を観る会　080-6639-1606(佐藤)
- 寺社を巡る会 046-866-3339(吉田寿紀)　・パソコンを使いこなす会 701-9775(林)

編集後記

今年の夏は暑かった。7月23日には熊谷で41.1度の最高気温を記録しました。2年後の東京オリンピックはどうなるのでしょうか。今年の夏は熱中症による救急搬送人数は9万5千人もいたそうです。オリンピック観戦の外国の方はあちこち昼間も歩き回るのでは、心配です。何故、猛暑の夏に開催するのか、それはオカネのようです。放映権料の半分近くを出しているのは、米国のテレビ局。秋になると米国では、NBAなどの人気スポーツも始まります。テレビ局は競合するスポーツイベントがない、端境期の夏の方が視聴率が稼げる＝高いCM料を取れるからのようです。10月10日に開催して欲しいです。（佐藤 和広 記）

発 行 日	平成30年11月10日
発 行 月	年4回発行（2、5、8、11月）
発 行 者	金沢区生涯学習“わ”の会
編 集 長	山腰 策次郎
編集委員	相川　勲　　田中　徳明 江口　正彦　　佐藤　和広 渡邉　紀一　　田野実 裕之 鶴岡　重典